

湯浅兼道筆『源氏物語聞録』『紅葉賀』翻刻

日向一雅
木下綾子
湯浅幸代

凡例

- 一、底本は明治大学中央図書館蔵の湯浅兼道筆『源氏物語聞録』（中央貴重書庫092.4/75/H）を用いた。
- 一、本文は原態に忠実であることを旨としたが、文字の表記について、次のような操作を加えた。
 - 1 異体字は通行の字体に改めた。
 - (例) 昼↓書 寸↓時 畧↓略 虽↓雖 难↓難
 - 2 合字は分割して翻刻した
 - 右↓ヨリ メ↓シテ・シタ 下↓コト
 - 3 漢字に付された濁点は（・）で表した。
 - 4 振り仮名などの傍記は、右側のものを（ ）、左側のものを（ / ）で括った。なお、「紅葉賀」【一一オ】頭注、「カタミ（ / / ）」「カタミ（一一一一）」などは、発音記号と思われる。
 - 5 本文に傍記されている日付は（≡）で括った。なお丁数が一緒に記されている場合も同様に表記した。
 - 6 送り仮名は標準の文字サイズに改めた。ただし、返り点付きの漢字においては、文字サイズを小さいままとした。
 - 7 割り注は「|」で括り、文字サイズを標準の大きさに改めた。なお、割り注内の改行は / で表した。
 - 一、反復記号は、ゞ々 / など、原態に近い形で翻刻した。また、濁点の付されたヲドリ字は / （・）で表した。
 - 一、堅点の表記は右側のものを「車*駕」（二ウ頭注）、左側のものを「口・惜」（二ウ）のように表した。
 - 一、見せ消ち・書き損じ等は、該当本文に二重抹消線を付し、傍書された訂正文字を（ ）で括った。
 - 一、抹消は●で表した。
 - 一、写本の損傷により判読不能の文字は□で表した。
 - 一、挿入記号は◇で表し、挿入文を（ ）で括った。
 - 一、二文字以上の空白は「空白」で表した。
 - 一、和歌の開始記号は「で表した。
 - 一、本文中に見られた「の記号は『で表した。
 - 一、頭注は（〜）で括り、各丁の本文の後に記した。なお、丁をまたぐものは、開始丁にまとめて掲載した。

※作業は以下のとおり担当した。

(翻刻) 木下 (校正) 湯淺 (修正) 日向

なお、二〇一六年度に、湯淺と関恭平(明治大学大学院博士後期課程・RA)で再修正を施した。

翻刻

【一オ】

源氏物語聞録「紅葉賀七／花宴八」

【一ウ】

【二オ】

紅葉賀

《六月十一日會》

此題号ハ抄ニ書通り此中ニ紅葉賀ト字熟シテハ無也唯試楽ノ日カクツクシツレバ紅葉ノカケヤサウノシクト云紅葉ノカケデシタカナレドモ紅葉賀ト云字ハ無也藤ノウラ葉花ノ宴ニハアトノ事ヲカノ紅葉賀トアル也彼是デ付也卷ハ源ノ十七歳ノ冬ヨリ十八歳ノ春迄アル卷ハ末摘花ノ横堅(ヨコタテ)兼タ卷也若紫ト末摘ト横ヘカヘリ必竟堅ヘナル故アトヘ残タ也此卷ニ若紫ツレテキテトアルソレヨリアト書也紫ハ二卷也横也アトヘ残ル処ハ堅也賀ノ事モ天皇ノ賀ハ仁明ノ嘉祥二年三月興福寺ノ衆徒献_二天皇四十賀_一是天皇ノ始也院ハ嵯峨ノ天皇ノ院デゴザナサル時賀奉也抄ニ見エタ也朱雀院_一唯今デハ桐壺ノ御世(ゴヨ)也スサク院ハ前モ云古ハ仙洞ヲ云也中比六十一代ノ天子ヲ朱(ス)雀院ト云故朱雀院ト云名止(ヤム)也古今(コキン)ニ

【二ウ】

スサク院ノ女郎花合ト云朱雀院ハ宇多天王也モ桐壺ヲ延喜ニスレバ父ハ宇多天王也桐壺ハ延喜ニ模(モ)スル也宇多ハアトヘ残ル故此(コレニ)院ノ崩御見ヌ也此タビ朱雀院行幸ハ紅葉ニ付賀ヲ進ゼラル事也延喜ノ時分ニ宇多ノ五十ノ賀進セラル事アルソレニモシタ者也此卷ハ必五十ト見エズ唯桐壺ヨリ朱雀院ヘ賀進ゼラル也天子ハ行幸ト云院ハ御幸(ゴコウ)ト云天子行(ユク)ハ幸(コト)蒙ル也行テ幸スルノ心マヘカラナラシアル事也末摘ノ卷ニモアル近キ中ニ朱雀院行幸アルトアル也平生ト違面白カルベキコノタビノ事ナレバ也ナリケレバハニアリケレバ也(◇ニ)アナニツヅマル也御_一其時分キン中ニヨルミヤヅカヘノ更衣女御也朱雀院デ楽アル事也舞アル事故キン中ノ女中ハ見事ナラシ口惜ガル也上モ_一ウヘハ天子也外(ホカ)ノ事ハヲ心ニカケラレズ藤壺ノ_一也アカズハコトノタラン様ニ思召也朱雀院ヲ賀ハ天子ノヲ心十分ニシテ上ラル也足ヌハ藤壺ノ御覽ナサレヌガ足ヌ也試楽ハ試ハコノロミル也或調

《○官職私考曰朱雀院ハ代々オリキノ帝ノオハシマシケル処也但承平ノ帝ヲ朱雀院ト謚リ奉リ玉ヒシヨリ後ニハ此院号ナシトイヘリ行幸和訓ミユキ是天皇他行ノ御事ヲ云ソノ車_ニ駕_一(ノミカト)ノ至ル処ニハ万民ヨロコヒサイハヒヨナス事多キユヘニ行幸トイヘル由也河海ニ延喜十六年三月七日同年八月廿八日康保二年十月廿三日朱雀院ニ行幸ノ例アケラレタリ云々神無月トハ十月ハ神事ナシ是極陰ノ月ナルカユヘ也仍神無月トイヘリト行幸ノ式官衙令儀制令公式令ヲ引略之》

【三オ】

楽トモ云俗ニ云大ナラシ也一切稽古足リ此通ニスルト云フ一返シテミルヲ云

也今禁裏デ被仰付藤壺ニヲ見セナサレン為也天子ニ限り御前(ゴゼン)トヨム也源朱雀院デモ青海(シ)波ヲ舞ハツヲ今ナラシニ舞也青海波ハ元唐カラ傳ハル樂也大佛供養(クヤウ)ノ導師ノバラモン僧正ソノ譜(フ)ヲ持來傳也中比譜絶エ舞ノミ残ル仁明ノ時良峯(ヨシミネ)ノ安世(ヤスヨ)僧正遍照ノ親也舞ニヨリ譜モコシラヘサス詠(エイ)トテ哥イモノヲ小野ノ篁(タカムラ)ニ被仰付也文也抄ニアル也青海波ハナミノ姿也舞フ姿女波(メナミ)男波(ヲナミ)ヨスル体(テイ)也謡(ウタイ)ニ梅枝ノ謡ニ青海波ノナミガヘシトアル舞ニ其波ノカヘスニ習アル事也トゾカタテ一人立並マウ也源ガシテ(◇)シテ脇ノシテ也ト云様也頭中将ハ葵ノ兄ゴ也源ノ無二ノ入魂也一人ハ左大臣殿ノヲ子ノ頭中将コノ頭中将モ形ヨウイハ取ナシ也心遣ノ事也用意ハ即心ヲ用ト書也平生ノ人トハウルハシイニ源ト立並青海波マヘバ誠ニ花也ヲサレル也抄ニ花ハヲサレタニハ非ス花ハ花ミ山木モ色青ケレバ一風景アル花ハ花常

(○私考曰試楽(シガク)トハ行幸ノ當日ヨリ以前ニコ、ロミノ楽ヲセサシムルヲイフ也臨時ノ祭ノ試楽ノコトシ)

(○同青海波ハ左方ノ舞ナリ承和ノ御時良岑朝臣安世師勅ヲウケテ此舞ヲ作り玉フ此時ハ殿上人ニ青色ノ袍ヲ玉フ例也舞ノ手向(テムキ)一方寄(ル)波引波ノテイヲウツサル、也略)

(○舞ノ形メ波ヲ波ノヨセル形ヲマフ也ソレヲマフニ習アルトゾ)
(○抄大海賦ハ如何曰海賦ト云ハ貝ヲ色々織附タ者也)

【三ウ】

磐木(トキハキ)ハトキハ木何レモ取ノト云ソフデナヒ也是ハ光源氏ノ物語也トノ巻デモ源ノ事ホメヌ処ナヒ是ハ頭中将ガヲサレタト云事也既ニ大殿

ノ頭ノ中将形用意人ニハコトナルヲト云文見ヨ是ヲトラント云デハナヒ也入凡樂ハ陰(キン)分ニナレバ聲スミ面白者也入方ノ日ハ陰分ニナレバ猶聲スミ上ル也樂ノ聲ヒトシホニ成タ者也夕暮(シ)方デ聲スミ面白時分也同タレガ舞ヘドモ同シ青海波也青海波舞ト云バ源マウト同事ナレドモ也オモチハ顔(カホ)モチ也源ノハ各別ノ様ニ見エル也詠ハ小野ノ篁ニ被仰付作ル五言ノ詩也詠トテ哥フハ能(ノウ)デ舞ノ中ニアゲハト云事アル地謡(ヂウタイ)哥フニ大夫(タユフ)哥フ処デハ脇ダマル様也詠哥フ間ハ外ダマルソレスメバ外カフキ出ス也是ヤハ源サス也源ノヲ聲ガ也迦陵ハカイコノ中(ウ)トテ未ダ玉子ノ中デ聲諸鳥ニスグレルト也無双ノ聲ノヨイ也(◇)抄ニ引)正法念經ニ出迦陵嚩伽ハ(◇ソノ)妙音ヲ出ス(◇コト)天人或人間界キンナラハ帝釈天(タイシヤクデン)ノ樂ニカ、ル人也人ニ非ズ人非人トテ天帝ノ樂司ル者也唯除トハ

【四オ】

美声デ人間キンナラハ及ネドモ佛ハ迦陵嚩伽ニマサル佛ノケテハ迦陵嚩伽ニマサルト也此ニ是ヤートハ源ノアゲハナサレタハ源ノヲ哥イナサルヨリ迦陵嚩伽ヨイト也仏ノトハ伽陵ヨリ上(ウヘ)ノ佛ノミ聲ト同事ト云事也面白ソノ詠ナサル哥ニ感涙シテ天子涙ヲトス也カランダチメトハ公卿也ミコトハ親王方也感涙(カナルイ)也詠アゲハノ詠スムト袖ト待トリハ待テ居(ヲツ)テ樂ノ聲一時(トキ)ニ吹立フク故急ニアソコニギハシク聞エル也顔ソコデ詠ナサレソノアトヘ吹立故詠ナサルガ少シ恥テ顔アカラム様也チト上気ナサレタガ猶ヨイ也春宮源ノマ、母君也悪后(アクキサキ)也源トハケイ子ケイ母ノ間デ源悪ム也春宮(トウグウ)トハ東宮ノ母ゴノ女御也此悪后ウムハ今東宮ニ立故源ノヨウスウルハシイヲ見テキゲンアシイ

也神―藝能勝(スグ)レタ人ハ神見入レ取殺スト云事アル延喜ノヲ子ノマサ
明七歳ニシテ秋風樂(ラク)舞ハ山ノ神トルト云也山神カ何ゾメデ、トルベ
シトハノロウキミデ被仰也ウタテイマ、シイト被仰ハ

【四ウ】

ソウセイデト云心也キノドクナト云顔シテ実ハトシガシキ也若キ―ソレ聞ク若
キ女中ハキノドクナ事被仰ト思也藤―是モ源ノ繼母ナレドモ當時御出頭也源
御内々ニ密通ノアル婦人也オホケナキハ源ノヲ心カケルヲ不相應ニ思也源ノ
ソウシタヲ心ナクバマシテトハウルハシク思ニソウシタヲ心ナクハ今日ノ樂
猶面白カラン也ヲ心ノヲニアル故ツライ也宮―宮ハ即源也元ヨリ宮様故也ヤ
ガテハソノマ、スグニ也ソノ夜ハ御ゼンニトノキ也ヲ局(ツホネ)ハ藤壺ナ
レドモ女御ノ后ノハ桐壺ノ卷デモ云通上(ウ)ヘ局トテ當分ヘ切テソコデセ
ウ東ス后ヤ女御ハコレアル也ソノ外ナラヌ也ソコデ樂スミ天子ノ藤壺ヘヲ物
語也セイカイ波ニ尽(ツキ)其餘ハ更ル事ナカリシ也ナントドウミル面白カ
ツタカ也アイナフハ不相応也源密通故天子ノヲ尋ヲヲ心ノ鬼デツライ也ソフ
被仰―言(コト)ニハ心アハヌ故不相応也ナル程各別ナ事ナト也トバカ
リニ被仰也カタテモ―カタ相手モ中々悪ハナカリシト被仰也マイノ―舞様手
ヲ遣ヨウスモ家ノ子ハ―頭中将ヲ指(◇テ云)也

○宮兼道按湖月ニ細流ヲ引テ藤壺トス岷江ニハ秘ヲ引テ同説也師説ハ源ヲ
指ス恐非ナラン文ノツゞキ藤壺ノ宮トミュ又六丁ヲニモ藤ヲ宮トアリ

○(◇長賢先生曰)三丁ヲツキヌナノナノジ流布ノ本ニハ無アルガヨシト
云事也

【五オ】

良家(リヤウケ)ノ子トハ撰家清花羽林家ヲ云也ソレ略シテ家ノ子ト云也
各別ナ者也此餘ニ―ハ是ハ樂人也コノヨニ名ヲ得タマイ人モ家ノ事故ヨクス
ル舞モヨクマフソレラハ家ノ事デハ藝ハヨクスレドモ、シウハヲウヤウ也
ナマメイタルハ風流也藝一ズイニカ、ル故下(ゲ)作也良家ノ子ハヲフ様
デ風流ナル処アル也ソレラハエミセンガ良家ノ子ハソレミエルト此ニ心アマ
ル也心―是モ天子ノ被仰也今日デ尽シテシマフ故誠ノ樂ハ今日見テシマフ故
今日ハ面白ケレドモソノ日サビシカラント思ドモソコ元ヘ見セン為ニ此様ニ
企シ樂サシタ也ツトメテ―ツトメテハ明日ノ事也明日ノ事ツトメテトハナゼ
云ナレバキンリヘトノキスル公卿天上人ヒルノトノキヨルノトノキアル也一
夜勤テ宿番シテモドル故朝ノ事ヲツトメテト云也昨日試樂アルアクルアサ
也藤壺ヘ文(フミ)ヤル也如何アルゴト也セ間ニハカウシタ事シラヌ程心乱
ル藤壺ニヲ心アツテ平生乱レ心ナレドモヲ目ニカケン為ニ舞ト也

○私考曰家ノ子トハ良家(ヨキイエ)ノ子トイヘル心ニヤ世継ヲ引テ東
三條院ノ御家ノ舞人家ノ子ノ君達ト記サレシ云々

○同名ヲ得タル舞ノシトハ唐ノ樂高麗(コマ)百濟(クタラ)新羅(シ
ラキ)伎(クレ)樂雜ノ樂等ノ師品々アリ

【五ウ】

○「物思フニ―藤壺ノ事常住思故中々立テ舞ト云心ハナヒ也袖―我ガ立テ舞
ガ其心ハヲ知カ我ハコナタヘヲ目ニカケン為ニ舞レン処マウ也アナー抄ニユ
メ、モウスナト云アチラニモラサフ様ナヒ也アナーハア、ナア恐レ多也女
御也ケイ母故カク云也御―御返ハ藤壺(フシツボ)ノ返事也アソコヘヲ返事
ハトハノ字入レミル心也聞エ易也アヤハ文(ブン)也目ニ文章アル処ミヘヲ

クル也アヤハキヌノモン也地ハナンノ更ル事ナケレドモ鳥カ花ヲルデウツク
シイ也モンハアヤ也目デ舞ミルニ目(メ)モ(◇アヤ)アル様ニ見エル也平
生ハ返答ナヒ也返哥モナヒ也此ヲ返事ハ目モアヤニ面白ク感ニ堪(タエ)ズ
ミ忍レヌ故ヲ返事アツタソウナト云コト也ソレ故返事ハト入レネバ聞エニク
イ也

○「カラ人ノ―青海波ハカラノ舞(マイ)故也楽ニ唐(カラ)ノ楽高麗(コ
マノ)楽ト云事アルナンボアルモカラトコマトニ二分テアルカラハ左カウラ
イハ右トス上ミ懸リ下懸リト云様二分アル也上懸ハ地謡モ別ル也楽ハ両方
ニハナヒ也一ツノ別

【六オ】

テアル青海波ハ唐*楽也唐*人カラクル唐人モ舞(マフ)ナレトモソレハ遠
故ミヤウ様ナヒ也昨日源ノ立タリ居タリマウ也アチノハ知ネドモ昨日ノ源
ノマフ故ニ哀レトミ居ルニモ哀ム也哀ハ愛スルキミ也顔ヲソムケテトモニア
ハレム深(シン)*夜ノ月ノアハレム也大方―大体大方ノ事ニ非ズ各別ニ面
白ト也限―限モナフ珍シウ也大体デハ藤壺ヨリ返事ナヒ故カラ人ノ―ト被仰
青海波ハカラノ楽也カラノ楽ト能(◇女義ノ)シルトホメル也人―カラノ事
迄ヨク御存ト也御后―未タ女御也近日后ニナル下地ジヤト也カネテハマヘカ
ド也后ニナルハシレテアルト源ノカゲナガラ御セウビ也ソノ状ウレシク平生
ドクジュスル経(ケウ)ノ様ニ手ニヒロゲ見テアル也行幸―是カラ本朱雀院
ノ行幸也抄ニコレヨリ行幸ノ當日也トアル非也ハ試楽ノ事ニツイシテ行幸
ノ事イヘドモマダ當日ニ非也天上人迄皆罷出タ也春宮―春宮モマシテ朱雀院
ヘヲ出也此日ノ春宮ハ源ノ弟也ソノ日ノ事ハ例ノカノ―イツモ仙洞ノヲ池ヘ
竜頭ゲキ

○四丁ヲ后コトハハ云ト云義歟曰御后カネコトバノト聞テ聞エルヤ后ニナ
ルヲ下地ト云詞也カネテモト云ハマヘカド也サレトモ日本紀ノカネテト云事
スマズアラカジメト云ネハナラン也カネテハモノニノ事也

【六ウ】

首ノ船ツケル也ソレニ先程云トウノ楽コマノ楽クサノハシユノ舞アル
ト云事也ツバミモ楽ノ道具ナルニ楽ノ聲ツバミノ音トハニ重ナ様ナレドモ
文飾リ云也セ間ニヒバク様也日トヒノ―是カラ源ノ試楽禁裏デスルソノ(◇
ヲ)姿ガアマレヨイ故春宮ノ被仰様ニ若神ノミ入ラレンカトテ御祈祷也日ト
ヒハ一日也ユハシウハ忌(イマ)ノシイ也至テ勝レルハ亢竜ノクヒアル故
アマレヨサニ却テ忌(イマ)々シイ也経ジュスル御祈祷諸方ヘ被仰付也ゴ尤
ナ事也天子ノヲ志ヲヲイタハシイ御尤ナト感歎シテアル也春宮―セ間ノ人ハ
御尤ナト云ニ春宮ノ女御ハ舞ガヨイトテ御祈祷ナサルハ強テナ事ト悪ミ云也
カイシロナド―是モシタナラシ也前ノ用意也カイシロトハ楽スル笛吹人也カ
イシロハカキシロ也カキノ様ニ舞(マフ)人ノマワリ取マハス垣(カキ)
ノカハリ也取マワシテナカデ舞ス也シロハカハリ也カキシロニハ天上人モ地
下モ出也各別ミル処カ各別ニ上手ト云ヲエラミ出也イフツクハモノシル事ア
ル也一切公(ク)事

○私考曰唐楽ハ左方ノ舞高麗樂ハ右方ノ舞ナリカハルノイテマフ

○同ツ、ミトハ太鼓鞆*鼓三ノ鼓等ナリ鉦鼓亦ツ、ミノ部ニイル

○同カイシロトハ垣代ナリ又墻代トモ書也舞人ノ立ソヒナリ殿上人地下
古ハ公達家トイヘトモ殿上ヲユリサルハ地下トイヒ諸大夫家トイヘドモ昇殿
ヲユリタルハ殿上人トイフ或ハ職ニヨリテ殿上地下ノ差別モアルヘシ

【七才】

二通シタ人云也是ハ樂ノユウソク也コ、デ宰相二人ト云左衛門ト云ハ四人ノ様ナレドモ四人ニ非ズヤハリ二人也獨ハ左エモンノカミ兼帯一人ハ右衛門ノカミ兼帯也左衛門ノカミノ宰相ハ左ノ事ヲ行ヒ右門ノカミノ宰相ハ右ノ事行ソノ日ノ奉(ブ)行(ハ)ノ事也舞ノ師ソノ舞ノ師ハ樂人也ソノ日マハス為也是ハ師匠(シセウ)ニ非ズ舞スル者也トリハエラミトリ也大ガイノ樂人ノ中ヨリ扱ミ出也各一此詞デ見ヨ當日デナヒソノ日スル稽古シテアル也コ高一是ガ院へ行幸ノ日ノ事也是カラ當日ニ至リ朱雀院仙洞故大ナ故大ナ高イ紅葉アル也四十人一是ハ樂人ニ限ラズ天上人ノ堂上衆マゼリスル也是(コレ)必四十人ニ非ズ大ナ事ナレバ四十人少ナケレバ二十人モ三十人モアル也四十人ノカイシロ(ロ)ト句切ハ惡也四十人ノカイシロト別ニ切四十人悉吹デナヒ故ト云心デ句切ナラソレハ非也皆吹也此中四十人ノ中序二人破二人垣代三十六人ト抄ニアル也一切ノ事ニ序破急アル樂ニモアル也序ハシヅカニ云破ハ半ニ互ニ力(チカ)ヲ入レル終ニ急ニナル也序

(○私考曰イフソクトハ有職ナリ和漢ノ故実ヲシリタルイフ続日本紀三代実録ヲ引此ニ字アリ又史記季布傳曰臣恐天下ノ有職聞レ之有以關ニ陛下也)

(○同宰相フタリトハ參議左衛門督參議右衛門督ナルヘシ元宰相ノ号ハ大臣納言ノ通称也然トモ爰ニハ大宝二年五月始テヲカル、処ノ參議イフ是正官ニ非ト雖但勅語ヲモテ官名トス假令異邦ノ參知政事ニ似タリ続日本紀大宝二年五月丁亥勅ニ從三位大伴宿祢安麻呂正四位下粟田朝臣真人從四位上高向朝臣麻呂從四位下下毛野朝臣古麻呂小野朝臣毛野令參議朝政事物紀原唐正觀十三年劉洎始為參知政事)

【七ウ】

ノ時ニソロ／＼吹出スラソド、云様也謡デ地頭(チガシラ)ト云様ナハ大(オ、キイ)トソウ／＼(ハ)四十人皆吹也一時ニ吹故朱雀院ニアルツキ山也大ナ御殿故山モ大ナ故大木モ松モアル也四十人ノ吹立ニ松風ノ笛ノネニ入タ世実ニ深(ミ)山ヲロシノ様ニ聞エル也大山アル故フキ返ハ笛ノネニ松風ノ聲吹和(クハ)シタ也色々ニチリカフハ散(チリ)テ合(アフ)也アチヲヨリコチラヘチリ紅葉ノハラ／＼チル様ナナカヘ源ノニヨツトマイ出也此オソロシキモ亢竜ノクヒ也若モノ、ミ入レモアランヤト云也カザシノ舞人(ハ)ハ時ニ聳(臨(ノソミ))春ハ花カザシ桜ナケレバ夏ハ藤ヲカザス元(モト)顔カクス為ニス大キフ顔ヘカ、ル様ニス後ハ飾ニスル也金銀デ作事モアル実ノ花ヲ用ル事モアル是ハ実ノ花也ヲ顔ノ色ウツクシイ故紅葉マケル様也紅葉少(スクナフ)ナル故ヲ庭(ニハ)ニアル菊ノ花折左大将ト云人サシカヘタ也此左大将タレトモシレヌ也日暮一青海波ノ舞アル日クレカ、ルトチツト時雨ルト云ケ色程ハラ／＼トフル也空一ソラノシクレルハ舞ヲミシル様也今デモ道成寺(ドウゼウジ)ヲ舞バ雨

(○同四十人ノカイシロノ事輪臺ノ輪ワタルトイヒテ舞臺ノモトニマロク立メグルナリソレ輪臺ハ青海波ノ前ニアル樂也堂上地下相マジハルトイヘリ)

【八才】

フルト云様也実ニ感ズルニ非スソラヨリミシル様ニ見エル也サルソフアル元ヨリ源ノウツクシイヲ姿ニ菊ノ色々ウツロヒハ十月比ニナレバ白菊モ両方ノハシ紫ニナル也菊ノ色々ト云ハ白菊黄(キ)菊サマ／＼サスト見ユケウハ一試樂ノ日モ面白ガ又外ニハナヒ手ヲ尽マウ也入一ハ舞ノ入口ニ序破急ノ急ニアヤ尽シテマフ也ゾツトスル程身ニシミ／＼ト面白ナカ／＼此世ノ事ト

思ズ天人界ノ舞ト云ハンガ如也是ハ舞シラン者御(ヲ)ツキ山杯ニカクレミルソレデサヘスコシソレラノ中(ウ)デサヘ小ゼウネアルハ感涙流シタ也承香殿ハ承香殿ト云御殿ニゴザル女御也是モ源ノ弟也四ノミコ也マダ冠(カムリ)キヌ小ドモ也秋風楽ガクノ名也サシ青海波ヲ源ガマフソレニツバイテハ是也コレラニ源ノ青海波四ノミコノ秋風楽デ面白サ尽タ也外ノ舞ハ見トウナヒ也源ノ舞面白故外ノ楽面白ナヒ様ニナルハケク事ザマシ也其夜ソレ迄源ハジュ三(ミ)位(ミ)也頭中将ハシユ四位上也今一階セウ進シタ也カランダチメ

(○私考曰菊ヲ挟頭(カザシ)花ニサシカヘ玉フナリ偕大将ノ官号ハ聖武天皇ノ神龜五年及称徳天皇天平神護元年ヨリ始ル爰ニ左大将トハ平城天皇ノ大同二年藤原ノ内膳ヲ左近衛大将トシ坂上ノ田村麻呂ヲ右近衛ノ大将トスルヨリ以来ノ号也)

(○同入アヤトハ更ニ取テカヘシ面白舞事ナリ舞ニヨリテ入アヤナキモ有ベシ)

(○同承香殿ヲ御曹子ニ玉ヒタル女御ナルヘシ)

【八ウ】

ハ公卿(クゲウ)也皆相応ニ加階也位階升リ禄デモ下サル様ニ其日ノ祝義ニツキテ也皆其日ノ源ノ舞ヨイソノ御祝義ニ外ヘモ下サル、也人ノ舞デ驚ス也心ハ加階シモノモラウ故ドウシテゲンハ宿世デヨイ事シタゾ知タイ也宮ノ藤壺ノ事也ソノ時節何事カラ里ヘヨリル也御病氣ト云様也例ノ若紫ノ巻ニモアル源ノ藤壺里ヨリ伺ヒ逢事アル也藤ヘヨ心カケアル色也事トハソレヲ大事ノ事役ニシタ也オホイソレ故葵ノ方へ行ヌ也左大臣殿デハゴザランガト云也カノ紫クル事也二条院ヘツレコザル事アル也朱雀院行幸ノ後ニ當ル是

根(ネ)ニカヨヒト云故コ、デモ若紫ト云也二条院ノ源ノゴザル処ヘツレクル故葵方デハドコヤラカラ二条院ヘ女迎ト云也タレトモナフ云テ心ニツカソフ届スルト云嫉妬也ウチノノハ源ノヲ心ノ中紫ノ十歳バカリナルコトモ知ヌ内々ノ事知ヌ也知ヌ事ハ理ナレドモ心ノ様ニ怒セズ平生テイノ様ニ聞エント怨バ源モソフデナヒ十歳バカリノ子ドモツレ来リシト云ハン也アチノ腹立(ウ)ヲ

(○同秋風楽ハ左方ノ舞コレ盤渉調ノ楽ナリ)

(○同正三位ニ叙シテ中将モトノ如シコレヲ叙留ト云夕顔ノ巻ニモ記ヌ抑正從一位已下ノ位階ハ文武天皇ノ大宝元年三月ニ始ル此時三十階ノ位号ヲ定メ玉フ此中正ノ字ヲ濁リテヨム尤是故実ナリ云々)

(○同正下トハ四位下ナリ頭中将ナレバナリ)

【九オ】

慰(ナグサ)メル也思ハ源ノ思フ様ニナヒ也御心ニツカヌ悪イ事云コト也アチアマリヒンシヤントスル故ソフアルマイ此方ニモ色々物ズキ出来テクル也人ノ是カラ葵上ノ事思也人ハ葵ヲ指也カタヲハタラハヌ事也カタ帆ハヒラ手也本テマナヒ也ソノ事ハタラヌ是ガ足ヌト云疵(キヅ)ナヒ也人ヨリ源十二歳ノ時分御夫婦ナレバアハレ此方ハアハレニイタハシウ外ノ事ハヤツル心ニ非ズ此方ノ心ヲミ定ン程コソアラシテヒンシヤントセン必竟手前ノ心ヲ見定バト也オタク葵上ハヨノ様ニカルシフ無ヲ心ナル程ニソレカラハ遂ニ我ブサタニナヒト云心ヲ自(ヲ)ミ直サント也頼ノ行末ハミ直サント思ハ本御夫婦各別也幼キ人ハ紫ノ事也ミツイト見ナレルキ頼ニセント思ハ本御夫婦各別也幼キ人ハ紫ノ事也ミツイト見ナレルキミ也心易フ見ナレル也イハキト通故也ナレルニ付弥心カハイラシイ也形猶ヨ

イ也ヤウヤク十歳バカリナレバナンノ心ナフムハムツハレ心易ナル也マトハシハマツハル也イトノマツハル様ニ源ニモツレル也シバシシバシカ間ハ二条

（○六丁ウトリナヒハ取ナシ也五音通ス）

【九ウ】

御殿ノ中ノ人ニモ知セマイトスル源ノゴザルハ東ノ臺也西ノ臺ニヲケドモオク深シテ御殿ノシツライニツトモナクケツカウニスル也聞エ玉フテ也ホンカキテ一本ハ即手本也マシ処ハ紫ゴザル勝手ムキ取行也ケイシハ御殿取行人也是ハ源ノ大事ニ思召故マン処ケイシ置也源ノ中（ウ）ヲ各別ニツケテ遣サレテタシカ二人ツケ大夫ニナサレタ也惟光コレ光ハ元ヨリツレテクル時ヲトモニクル故委ク知也

（七丁ヲ 六月十六日會）

△カノ父宮モ「空白」紫ヲ源ノ逢引ナサレ二条院ニ置コトヲ外々カラハモチツト成人シテ婦人ナラント思ヒ幼少デ本ドウシタ筋目ト云事惟光ヨリ外知ル人ナヒ外ヨリハドウナラント思也父ミコハ紫ノ父也若紫ノ卷ニシノ方ヘ引取ント云ヲ源ノムリニヲシノ方ヘ引（ヒキ）取也少ナ言モ付クルアトニ女房残ヲ少納言モカクシテ源ノ取ト云ナト云置故知ヌ也姫君紫ノ上モコチニゴザリ心易ナレバコチヨフナレドモ己反テ思ハ尼君ヲシタヘドモ父兵部卿ハナントモ思ヌ也元ヨリウトシウ祖母君ノモトニゴザリ父ゴナレドモンレ程ナジミナヒ故尼君專コイシタウ也源ノ昼

（○マン処ケイシハ本妻テナケレバ無也源ハ墓上アル也コトニ紫ハ走レバ妾トスルノ妾ノルイ也）

【十オ】

夜アル時ハ幼少ナサビシサハマギレル也君ハ源也外ニ忍ビアルキアル故アイマニハ止（トマ）レドモソコニゴザル事少ナヒ也アトシタハレ源ノゴザレバ名残（ナゴリ）ヲシク思也ソレラウタク源ノ思也二三日―二日三日ノ間禁裏ニゴザリ又大殿ニモ二三日コザル両方ヘ働也影略（ヤウリヤク）互見（ゴゲン）ノ法也引ツゞキ禁中左大臣殿ヘゴザレバ紫ノ心屈（クツ）シテマチカネル也左様ニヨソニマサル中（ウ）心屈シテアル故母ナヒ子男ノ親中（ウチ）ニ置行様ニテアルカレルモ心落ツカズ静ナ心ナクキニカ、ル也僧都―是ハ鞍馬山ノ僧都也尼ノ兄（アニ）也紫ノ為ニハ（◇トヲノ）ジ也祖母様ノ兄弟也源ノ方ヘ引取トハ少納言ウス、云テ知ル也十歳バカリナレバ夫婦ノカタライハアルマイト怪ト思ヒ何分源ノ方ヘ行バウレシト思也彼カノハ祖母君死ナレタ事アル是ハ四十九日也中陰ノ中（ウ）ノ七日、ノ法事ト見ユ服ヌク事先デ見エル是ハ服（）ノ中也僧都ノ方ヘキツトシタ弔者遣サル也藤―是ハ藤壺ノ宮也藤壺ノ里ヲリニハ源ノ命婦ト云ナカ立頼源ノ逢タク思也ヲサガリナサレタト聞三―此節ハ御懐胎ナレバヒトシヲ逢

【十ウ】

被成タイ也命婦―是ハ藤壺付ノ三人ノ女中也ケザヤカト云ハ他処ムキニ被成テミスノ近辺ヘモヨセズ女中出テアイシラフケン処（）ムキノアイシライ也大方ノアリベカ、リノ天氣ノヨシアシ杯命婦ト云ナル也兵部卿―紫ノ父殿ノ兄弟也此君―源ノゴザルト兵部卿ノ聞テ也イト―是ハ兵部卿ノ体ヲ源ノゴランナサル也一体色メカシイ也ナヨビハ風流也源ノヲ心ニモ我女ニナリ見ハ色メクヲ人故サゾ面白カラント思也カタ、ト云ハ先藤壺ニ御密會アルソレハ兵部卿ノ御兄弟也又兵部卿ノ娘コノ紫ハ取来ル故ト（チ）ヘツケテモ也コマヤカニ―源ノ物語スル也宮モ―兵部卿ノ方カラモ源ノ御ヨウスノ和

ニ打トケ物語ナサルヲ聞偕モキレイナ御ヨウスト思也ムコ―色メク兵部卿故娘ゴ杯進ゼムコトハ思ズ同ジ様ニノシガ女ニナリ源見タク思也暮―クレルト御兄弟故ミスノ中へ入ル源ハ入ヌ也マヘカドハ上(ウヘ)ハ父桐壺ノ帝(ミカド)也源ノ御幼少故ニ藤へ行幸ニモツレ行玉フコヨナウ―只今ニ至ラハ源ハ

【十一才】

成人也又源ニ付懐胎故藤ハ世間ハバカリウト／＼シクスルト思也ツラク―ソレヲ源ノ却ウラメシウ思召ハ無理ジヤト云事也シバ／＼―是カラ源ノ三人ノ女房達へ被仰ハタビ／＼モヲ見舞申タケレドモ是ハカウシタ事／＼ト云指當ル用ナケレバ也アチノ用事也サルヘキ―サルベキハソウアルベイ手前身分相応ノ用アレバノ手前参ズトモ云ヲコシテクレヨ也スク／＼―表ムキスクヨヨカナ事バカリ仰(ヲ、セ)ラレ出也色メク事仰セラレヌ也命婦―ハ源へ藤ヲナカ立スル女房也源ノ内々頼ム命婦モ心入レセハヤキミル也タバカルハ必ダマス事ニ非ズシリヨ巡シテミル也藤ノ御懐胎デヲキフシモテナヤミノ体ミエル也ウキフシハ懐胎ノ事ウイ事也惟ウイニ非ズ源ノヲ子故也心トケテ命婦親(シタシ)フナサレヌ故宮へ對シテヲ笑止也ソレカラ命婦シイテエミヌソレ故源ノ後セラル、事也ナンノシルシナク也藤モ逢事ナラズ源モ藤ノ事思乱遣事尽セヌ也少納言―是カラ又紫也少ナ言ハ紫ノ乳母(メノト)也コノ哉ハサタンノカナ也

(○)(◇兼道按)カタミ(／＼)ハカタミ(一一)トヨマズ五ニト云コト也カタミ(一一)ハ人ノ死シタアトノ形見又筐(ハコ)ノ事ヲ云也

【十一ウ】

面白処へキテウレシイ事カアナア也少納言思様ニハカウシタ処へ紫コザル様ニナルモ故尼君ノ紫ノ事思召御(後)世ノ行ノ序ニモ紫ノ上セヲ祈レルシルシカト少納言思也大殿―少納言心ノ中(ウ)ニ大殿トハ葵ノ上也キツトシテゴザリコ、カシコ―ハ六条御息処ノ花散里ノ類コ、カシコニアル也誠ニ此紫ヲトナシクナラバ両方カラネタム嫉妬アラント少納言思也サレドハソウアレド也葵六条御息処ゴザルトモ如レ此ニ紫ヲ各別ケイシノマン処ナド置ヌ日々ゴザリ御寵愛アレバ外ニシツトガマシイ事アツテモ頼も敷事ジヤト少納言思也御―祖母君死ナレタ処九月ノ廿日比ト見ユ仍テ祖母ノ服(ブク)ハ父方ナレバ五月母(ハ)方ノ祖母ハ三月也二月ノ服ト見レバ師走廿日比ニ服(ア)明(アク)也霜月晦ト云ハ悪也抄ニ委ク見ユ晦(ツゴモリ)ト云ハ三月月ヨリヨケイニナル也日数カゾヘレバ師走廿日比ナレドモ晦ハコ、テハ晦也此卷デ源ノ元日ノ朝拜見エル也サレハ是ハ師走ノ晦也古ハ服スグモアトヘノ為ニ日扱(エラム)也廿日スギニヌグ服ナレドモ

(○)九丁ヲオボヘズハ不キレ意ノ心敷又ハツイニシランノ心カ曰コンナ事アラントハ思ヒモヨラスト云事也

【十二才】

ヨイ日ナヒ故晦ニヌグ也又―ハ外ニ親ナクテノキミ也マバユキ―服ヌイデモ心喪トテ心ノイミアル也服ヌグドモ心喪故花ヤカナ色ノ者キヌ也是六ヶ敷也紅(クレナヒ)紫(ムラサキ)程マバユキ者ナヒニ是ヲマバユキ色ニハアラデト云ハフシン也尤紅モキンジキノ深(コキ)・紅ニハ非也是ハ皆ウスイ也或ハ一説ハ萌黄(モヘギ)ノ朽葉(クチバノ)ト云ハ花ヤカナ色デハナヒト云ソレデモ如何也是ハウス紅ウス紫ト見レバ先ヨイ也ソレデモスマヌ事モア

ル也チノカギリヲレルハ地一ハイニ織也(△)コウチキ著(キ)ネバカラキ又著ル也唐衣(カラキヌ)キレハ小ウチキキヌ也上ノ晴(ハレ)ノキヌ也是ハ紫ホメル男君ハ朝拜八年頭ノ礼ニ禁裏ヘゴザルヲ云也是ニ拜賀朝賀ト云事アルキツトシタ義式也是ヲ拜賀ト云也拜賀ハソレ程ニナヒ也朝賀ハ百官悉也拜賀ハ小朝拜也天上人ノ拜スル也朝賀ハ各年也此朝拜ハ御義式ノヲ礼申上ル時也サシ紫ノゴザルヘヤ也ケウヨリハ源ノソコヲゾキ手立帰故ヲトナシウナラネバナラヌゾヤト云今モ云事也

(○△)コウチキネバ上ギヲ著テ其上ヘカラ衣著ル小ウチキ著レバソレデスムナリ

(○)クチバハウコンニベニサイタ色也紅葉ノクサリシ色也朽葉ト書也今呉服屋ニテソメサスヒハダ色是ニ似タリ源氏ノ未ニ出タヒハダ色ハ大分黒者也

(○)私考曰紅紫山吹ハ文ノイロノ素ナリ地ノ限リトハ地ノ見エヌホト文ヲ織タル也トイヘリ

(○)同朝拜是本式ノ朝拜ニハアラデ小朝拜也但コレハ私ノ礼ニテ元正ナレハ天子ヲ拜シ申度ノ由ヲ申請テ行ヘル公事ナリ其作法江次第ニモ見エタリ云々

【十二ウ】

打一是モ源ヲホメル源ノ物語故イクタビモ処々ホメアル也イツシカ一是ハ紫也元日トイヘドモイツト云事ナクヒナ遊スル也ソギハ手ソ、キ也ミツシハ書棚(シヨダナ)ノ様也ヒトヨロヒハ一ソウ也二ツ也ソレニ一ハイヒナツメ進ゼル也外ニ少サヒヒナノ家コシラヘ進ゼル也処一ソレヲ悉ク外ノセマウナル程取ヒロゲル也ナヤラウ一イヌキハ紫ノ召遣ノ小メラウ也若紫ノ卷ニ雀(スバメ)イナシタ者也コ、ニモヲニヤライノマネシテメグ也ナヤラウハハ

ラウ也源ヘ紫ノ告也ゲニ源ノ紫仰セラル、通りソソウ者也ヲツ付ツクラハセテ進ゼント也ケウハ一今日ハ元日ジヤ程ニト云テ出也ソコラ処セバイ様ニアルヨソヲイ也人々送テ御行列ミル也人々ハ紫ニ付人也紫モミル也ヒナノ中(ナ)ニ源ト云コシラヘ惟今源ノ参内ノテイトヒナデシテミル也コトシダニ一少納言云ハ年明テアルニ少シヲトナシウナサレ也十二一シヌルト云トテワドス也是ウク也ヲトナシウセン為也ソノウヘカクノ如クコナタハ源ト云男モウケテアル也アルベカシウ一シヤツベラシウ

(○)ソ、キハ氣ノイサムキミ也氣ノイソノスル事也

(○)私考曰ナヤラウトハ追儼ナリ古十二月晦日ノ夜ニ禁中ニテ此事行ル今ノ世俗家ニ節分ノ夜熬(イリ)豆ヲ打散テナヤラウ是其餘意ナランカ古例ハ延喜式大舍人寮ノ式ニ見ユ又金谷園記月令ヲ引可考

【十三オ】

御夫婦ト云ハソウスル者デナヒト云也御一参ルハ髪ヲナデ付ル也スベラカシノ髮故ユウニ非ズトキホドキスル事也マイルハコチラカラシテ進ゼルヲ云也十歳バカリノ小ドモハ早フユヘ杯云デ手ヲシガウスル今モアル者也アマレ遊ニ心入ル故也心ノ中ニサハトハサテハ也今迄ハ源ヲ親ト思召也此一少納言杯付々ノ人用アレバ逢ニクル故見知テアル也ヨソノヲトコト云ハミトムナヒ也我ハウツクシイヲトコ持也コ心ニウレシイ也偕ハ源ハ我ヲトコカト知ル也サハイヘトハヲ年十歳也ソレヨリヲサナイ生付ナレドモトハイヘドモ一年ハル越ル故チトツ、御合点行ソウナ也カクノ如ク此様ナイトケナヒヨウス事ニフレ外ヘ露見スレドモ源ノ召遣ノ人々モ合点ユカ又幼少ナソウナトハシノモシレル也此様ナマダ十歳バカリノコドモアラントハ思又也内一禁裏カラ直二年頭ノ礼スミ葵ノ方ヘ源ノゴザル也例一イツモノ通キツトシテゴ

ザル也心一和又也人次第二ナル処ナクキツトシテアル源ノキウクツ也コトシ
一セメテコ年トシ明テアル程ニセ間ナミニシテクレ也

【十三ウ】

ワサト一葵ノ心ニ紫ツレキテスヘヲクト聞故アレヲツレテクレバサゾ止事ナ
ク御大切(セツ)ニ思ナラントト角葵心(コ、ロ)ヲカレル也平生サヘウト
／＼シイニ紫ゴザルト聞弥ウト／＼シイ也是作者ノ推量也ナヨビカニセズ少
含アルヲ源ノミシラ又顔シテシヤラクラニスル也エンモ心ゾヨウケン／＼ト
セヌ也ソコデソウ応ノ返答スル也猶一左様ニ返答アルヲ聞ハセ上ノ女ト違葵
ハヨイ也ヨトセ一源ヨリハ四年程アイアレバ二十四也コノカミハ姊也打一ハ
年行キミ也何一此人ノタラヌ不足ハアルゾ也我一我心ノアマレケシカラシ
グサミスルトテ此様ナ事タル人アルノニ我心ノナグサミトテ也

《十二丁ヲ 六月廿一日會》

△おなし大臣一源ト葵トヲ中ムツマシフナヒ其子細是カラ云也同一葵父左大
臣殿也何レモ三大臣アル事也其中(ウ)ニ也人ノ思ヒヨセル処ガ止事ナヒ也
ヤンゴトナヒノ訓ハ初メモ云思事云出ス事止(ヤム)事ナクゼウジウスル故
貴人ノコト止事(ニ)ナヒト云也大臣殿ノ覺(ヲボヘ)人ノ思ヒヨセル事並
ナヒ上(ウヘ)ニ又宮一ハ

【十四オ】

其北ノマン処様ハ當時ノ天子ノ妹ゴ也同腹ノ妹也天子ノ妹ムコ故シタジ威勢
アル撰家ニ天子ノ妹ゴ入ルソノ子ノ葵上也コレバカリ也イツキハイツクシム
キミ也カシヅキハカシコマル也又イツ一ハゲンノ心モアルイツキカシヅクハ
大切ニスル也御一葵ノ心奢也越事ナヒ心奢也チツトデモ源ノヲロソカニスル
カト思也承知セヌト云様ニアル也ソコデ源ノヲノシハ當時ノ天子ノヲ子也弥

ニ御テウ愛ノ人故其様ニナンノモツテウゼウウナヒト也ナラハイハ平生ソ
フナラハセ玉フ也両方ノ威勢争也両方ヘカ、ルドモ也是戒也女子ハムコ方ヨ
リ高テモ夫ヘ嫁セバ順ネバナラヌ也我家高家トテ奢テハユカヌ事也ヲトコニ
ハ負デハナラヌ也オトバ一父ヲト、モ源ノ其様ニ親フナク籠略ニスルヲ源ノ
心頼モシウナヒ也父モ怨心アル也見奉一源ノヲ入御對面ノ時ハ天下ブ双ノ
美男也ナニモカモ殘処ナヒ人故中々怨アル様ナ人デハナヒ也弥源ヲ大切ニス
ル也勤テ一朝疾源ノ身拵シテ参内スル也勤テトハキン裏ヘヲトノキ申ヨリ出
夕事也ヒルノトノ

【十四ウ】

キヲ直キト云ヨルヲ宿(シユク)キト云トモニトノキト云訓ズル也宿直トモ
ニヨルヒル相通シテ云事也分レバ是也一夜ノ御奉公仕舞テモドル故ニ云也ソ
レユキワタリ往カウガ戻ラウガ朝ノ事ヲツトメテト云也左大臣殿ノ御(ニ)
処ニアル源ノヲヘヤ也源ノセウ束ナサレテ出ントスル処ヘ左大臣殿ゴザル名
一ハ自身ニ持ニ非ズ大臣殿持様ナヒ也持夕者ツレクル也オビハ俗ニ石ノ帯ト
云瑤*帯(ヨフタイ)タマノヲビトモ云也瑤帯ハ玉帯也是ハ瑤瑤サマ／＼
(ニ)デ飾(カザル)也束帯ニ入ル事也前ハ紐(ヒボ)也後(ウシロ)ニ玉
アル前ノ結ビメハカクル也玉十一或丸或角バカリアル也或犀角(サイカク)
或瑪(メ)瑤デモスル也段々名アルウモン玉ノムモン玉ノ犀角ジュンナトサ
マ／＼アル丸玉ヲ用ル処ハ丸玉角玉ノ処ハ角也今ハ造作(ザウサ)アル故丸
角入レマゼニスル也弥外六ヶ敷也俗ニヒレツニ云バ石帯一ツ三十両五十両モ
カ、ルアル者也下官ノ者ハ玉ノカハリニ木杯ヲツケ玉ノ様ニシテサス地ハ黒
ヌリ皮デシテ其上組タ緒デ十一ク、リ付ル也御ゾノ一ザツト著タウシロ引直
ニ非ズ束帯ノ時ハ

（○ジュンホウト云者アル也順方ト書也コレ石ノ帯ニアル者也）

（○玉帯ハ後口ハ皮也前ハ組ノ緒（ヲ）也前ニテ兩ワ十二結也又左ノ脇ニ上手（ウハデ）ト云者一尺四五寸程ナルクジラノ骨ノ●様ナ者アル是ヲ後口ヘサス也是ヲ上手サスト云ソレユヘ石帯付テ皆サスト云也是ナニノ為ナレバ下官ノ者ハキヨヲ引ニモタス人ナヒ故是ニカケル也後口ノハカマノ腰ノ様ナ者ハ格ト云也石帯ハ束帯ノ時ノミ用束帯ノ帯ガ即石ノオビ也コレヲ束ネル也キヨハ衣（キヌ）二幅（ハバ）也二枚也極上ノ緞子（ドンス）也大臣ノハ一又二尺也ソレヨリ長様ニ見エル也武家ノ長上下ノ様也君前デ働カレヌ様ニシタ者也夏ハヒトヘ也両面トモ紋アル六位已下ハ平*絹也裏ハ黒ニソメ表ハ白也是ハ今ハ別ニ付ケル袍ノ下タニ著其上ヘ袍キル昔ハ下タ重（カサ）ネノスソニ付タ也其下タニハカマ也袴（ハカマ）ノ上ニキル也昔ノハ猶ソライ也太刀ハク時ハ必束帯也衣冠ニ太刀ハク事ナヒ也御門迄ハコシニメスソレヨリ殿ノ上引也白川ズナ故ヨゴレヌ也清涼殿ヘ上（ア）カル時ハアトヨリ取テ渡スソレヲ持也ザ敷ヒク事ナヒ也）

【十五才】

上（ウヘ）ニ袍キルセウ束付ガツケル後口デヒダトル腰立ル其腰立ル処クヅレヌ様ニ立テルナカヨリ玉帯入レ其ハカマノ腰ノ様ナ処クヅレヌ様ニシテ玉オビ也両方ヘ玉十五六モ見エル也皆ハ見ヌ也御一ハ腰ヲ立テルヲ手ツダイシテヤル様也ケ来ツケルヲ手傳也キツイ御弛走也是娘ゴイトシイ故ナサル哀也名物ノ帯ナサレト進ゼラル故源ノ是ハ一二月ノ比清涼殿ニ詩會アル天子モ執柄家モ必アカセウ束也其時ノ晴ノ時ニヨカント也左大臣殿ノ詞ニソレヨリマサルモアルソレハソレデ今日ナサレ也今日コレハ用ナン一ハメヅラシイ風流也モヨウハデナ也今日ニヨカラント也玉帯（◇付）ヲサスト云也ゲニ一ゲニマコトニ是ハ草子ノ地也左大臣殿ノホンソウシテ源ヲ出入シテミルモ生

一ナル程人ノ生ケルヨノ望ミハ源ヲムコニ取程ノ事ナヒ也カウシテ源ノ様ナ人ムコ故出入サシテミルニマス事ナヒ也源ノ昔物語故ニイクタビモアマタ処ホメル也サンザ一參（マイツ）テ座（ザ）シテソノ礼義云也ソノ様ニ方々ヘゴザラヌ也キンリノ兄ゴノ朱雀院ノ東宮悪后

（○天子摂政ハ必赤セウ束也）

（○私考曰石ノ帯本名革帯又腰帶トイフ云々可考）

（○同ヒキツクロヒトハ御衣文搔（カキ）玉フナルベシ）

（○同御クツハ涉履ナルヘシ靴ノクツハ庭上ノ儀ナリ）

【十五ウ】

腹（ウ）也一院ハ宇多ノ天皇ニアテ、云也祖父ゴ也藤壺ハ源ヲ心ヨセラル藤壺ノ（女）御也今日一是ハ三条ノ宮ヘゴザル時ニ藤壺ノ女中云也今日ハ又各別年頭デヨイト又ホメル也ネビハ俗ニ云ヒネル也一年ノ年コエル故弥ヲヒネ付テ也ユ、シキハアマレヨフテ却テイマ、シイ也亢竜ノクヒアル也宮ハ一藤壺ノ宮也ソウタイナンボ継母（マ、ハ、）ゴデモ直（ジキ）ニ對面スル事堂上ニナヒ也木丁ノヒマハ幕ノモノミノ様ニアイテアル也シゲカリケリト云中ニハアルマイ御密通ノ事ヤ或カリソメ事デ源ノタネヲ懷妊ノ事ナド思也此一藤ノ御懷胎ノ事也之源ノ懷胎ハ源クラ馬山ヘ瘡（ギヤク）ノマジナヒニ行ハ三月晦方トアルソレヨリ帰リ後ノ事也四月比也師走カラ正月御産月也四月ニ藤ハ里ヘヨリル故三月ノ懷胎ト脇ハ思也ソレナレバ十二月サン月デアルトモ也シハスニハ延タリトモ此月ニハ也宮人ハ藤ニ勤ル人也内ニモ一キンリニモソウシタ御用意シテアル俗デ云

(○)同ナイエンハウチノノ宴會ナリ仁壽殿(ニンジユデンニ)テ行ハル文人ヲ召シテ題ヲ給リ詩ヲ作テヤカテ御前ニテ講セラル、ヨシナリ委ハ若菜ノ卷ニ注スベシ)

(○)同サ、セ玉フトハ石ノ帯ヲサ、セ玉フ也雅抄ニ帯モ平緒ヲモサスト見エタリ今俗ニアツルトイフハ僻言ナルヘシ)

(○)同一院トハオリキノミカトカスノオハシマス時其第一ナルヲ一院トイフ)

【十六才】

バウブキノ様也ト云中正月モタチ脇カラミレバ十二ヶ月目也実ハ十ヶ月也持コス也脇ヨリハゲウサンニ思也ツレナクテハ正月ニモナンノ更ル事ナク正月ノ月タチタ也御ケシカラシノビ様故物ノケデノビルカ又実ノ胎デ無ヤウアルカト云也宮ハタカラ云立故ワビシイ也ヲノ心ニ四月タシカニ知ル故也此事ハ源御密通御懐胎ニヨリ人ノモノ云サガナヒ胎(時)節故人見アラハサン也身ハ死ヌル事也又此事ロケンシテハドウナランモ知ヌ也是ハワケモナヒ事(◇ニナル)也ソレ故ヲ心モ猶アシイ也中将源也イトゞ月ノビルニヨリ四月ノヲ子ト思也ノビタ故イトゞ也ミヅ法ハ祈祷也元ヨリ源氏カト云事ナクナントモナシニ也処々方々デ源モ祈祷被仰付也世中藤ノ心ニ老少不定ノ時節カクノ如ク御懐胎ナガラニシテ果モセンカト思也二月(キサラキ)御男子出生故アンジテナゴリナク人々苦ニシテ名残ナクキン裏ニモ宮人モ也宮人ハ専女中ニカ、レドモ又表へ出ル中官(ノ)ノ官人ニモカ、ル也藤ノヲ心ニ御アン産

【十六ウ】

アレドモ元ヨリアルマイ事也コトニ御(ヲ)名モリ出テスマヌ也アブナヒイ

ツソ死ダガヨイト思也弘シツトノ相手也源ノ兄ゴウム悪(アク)后也ウケハシハノロノシイ此タビノ産(サン)ニ死ナイデト云也ウケイツト云人ノロウ事也ソノ様ニノロウ様ニ云ト聞ク我死ナバ悦バン又其様ニアレバ人笑ン御威勢アレドモコキ殿(ノ)ノ威勢ト違果報ナヒト笑レント思テ強(シイ)テ薬デモ飲ミ食タベル也サハヤイサハヤギ也サハヤギサツハリトスル也イトキト五音通ズル也サハヤイダ也ウヘノ御出ナヒ故天子ノ早フ忌デモアキ宮参内シテミタク思也カノ源也源ノヲ心ハノシノヲ子ト思召ス脇ヨリ人知ヌ也キツウ心モトナイ也人藤ノゴ処ノ人マニ入ル也人ノヲラヌ処也人ズクナ、時ニ也上ノ是ハ人ヲ以藤へ被仰入也天子ノヲ尋故ミコヲ見天子へ奏聞セントハウソ也実ハヲノシ見シ為也ムツカシウナルチイサイ子ハ首(クビ)ノ骨カタマラヌグニヤトシタ様也ソレミセルキノ毒也サルハソウアルハ也サレバ也アサマシウ

【十七才】

源ノヲ子故源ニ能似ル氣ノ毒也アマレニル是程似タ事ナヒト云心也源ノヲ子故源ヲウツシテ作タ様也源ノヲ子ト云事々疑ナヒ也宮ノ藤ヲノシモ覺アル事故心ノヲニトハ我心ノ中(ウ)ニヲソロシイト云心アル之フラチジヤト思故心ノ中(ウ)ニヲソロシイト云ヲニアル様也人シレズヲソレルヲ云也人ノ源ノ此タビノ若宮ヲ人ガミルニ付テハ源ニ似タ故源ノヲ子ト見アラハサレテハトソレカラアヤシイハ合点ユカンドウシテ密通シタゾ也コレ程似タ故人ガトガメルナラント也此ヤハヤハニ通スルヲニハ也サラヌソレ程ニナヒコレ程ニナヒザツシタ事デサヘ疵ハ桐壺ノ卷ニ出独ノ毛生下(ヲイシタ)見ヌヲ毛ヲ吹ノケテミル様也世間ノ人ノ心ソレ也上ニ在物取ホゼリ出ス様ナイジハルイ人ノ心ノセ間也ドウシテ悪名出ンモ知ヌ也我様ナ身ハアルマイ苦シイト也命婦源ノ三条ノ宮へゴザリ命婦ハ源ト藤ト中立ノ人也大勢ノ人故

逢レヌ也サマ／＼ナ哀ナ事云ヲドウゾ目ニカハリタイ逢（アハ）シテクレ
ヨト云也ソレ程藤ノヲソレテアル事故中々ソノ時分ナラン也若宮―源ノ若宮
ヲ

【十七ウ】

ワリナクハキツウセン方ナフニ早フ御悦ナサレタイト命婦ニ被仰也ナト―命
婦ニ被仰バナゼ其様ニ今ミタイト被仰ゾ也命婦知レドモ知又顔デ云也イツゾ
ハ参内アラシ其時ニハ也ソフハ命婦云トモ乍（ナガラ）也口デハソウイヘド
モ源ノ思召モ命婦ガ心ニモソウ思召ハズジヤト也カタミハ源モ命モ也源ノミ
タイモ平生テイノ表ムキノ弟ゴト云様ニナヒ也カタハライタキハ氣ノ毒也口
デ云レヌ（◇事）也マンロクニ命婦ニ對シテミタイトモ心アリタケニ云レヌ
也十分ニモト云心也イカナラン―トカク元ヨリ天子ノヲ后也マ、母ゴ也ドノ
様ナ事デモ御對面ナラヌ也此命婦頼ト云様ナ事ナク直ニ申上様ナ事アラント
也ナイタマフハ啼（ナク）也イトキト五音通ズ見ル命ガ心モ苦イ也
○「イカサマニ―昔ハ過去ニ於テドウシタ因縁指ゾ也コノヨデ此タビ御出生
ノ若宮コモル也御對面ナラヌ因縁ゾ也カ、ル―カウシタ事ハサゾ過去ノ因縁
ナラントウゾ合点ユカヌ也命婦―ソフ云事ヲ源ノヲヨミナサルヲ命ガ心ニ也

【十八オ】

宮ハ藤也思乱ハ源ノ事忘レズソレニ付サマ／＼ヲ心乱ス也エ―ソシナ事ハド
ウモ調ヌトハシタナフハ不相応也ソフナラズ文（フミ）取次（トリツグ）也
○「見テモ―御尤ト云哥也見テモ思ハ此タビノ若宮ヲ藤ハゼウジウ見ル見レ
ドモヤハリ源トノ間ノ事思也源ハカノ宮マダエ見ヌ也見テアルサヘナゲク見
ヌヲマヘハ猶ナゲカント也コヤハコレヤ也是ガセ間ノ人ノ云子故ノヤミニ迷
ト云コレナラント也コヤニ子ノ事コモリアル也アハレニ―命力哥デ又命ガア

ハレニヲイタハシウ少モ心ニカン断ナヒヲモノ思ヒゾト也ドモデ両方ヘカハ
ル也ヒソカニ命ガソウ云テアル也カクノミ―ソノ様ニノミ也カクノ如クノミ
也御心底ヲ無シテ脇カラ云ベイ様モナヒ様ニシテヲ帰ナサル也人ノ―物カラ
デ句ヲ切也是ハ藤ノ心也セ間ノモノ云ハサガナイ也キノドク也セン方ナヒト
ノ玉ヒ又御心ニモ思也命―前方中立シタ時ハ御出煩申タレドモ段々藤ノ子出
来キノ毒ト思故却テ命モ前ノ様ニ思召サヌ也人―人ノ目ニ立様ニ隔ハナサレ
ネドモ其様ニ

【十八ウ】

親モナサレヌナダラカニ平々ニナサル也ナダラカハヨイ加減ニ也心―其様ニ
ナダラカニナンノ事モナヒ様ニシテハアリ乍命ガワレヲ心ニツカシ様アシ
イト思召時モアランソレラ命ガ心ニイトワビシイ前カドトハ違イ我ヲ隔ル心
命ガ心ニソウ思事モアラント草子ノ地ノ詞也四月―二月ニ御平産也然ハ四月
ハ五十日也五十日ヲイカト云イカ過レバドコヘモ行也ヲヨスケハヲトナシク
ナル也能笑ト云様也ヤウ／＼―アヲヌケニネサシテ置バウツヅケニナル小兒
ノアル事也アサマシキ―ハ氣ノ毒ナ程也源ニ能似ル也覺―天子ハ中々御密會
アリ源ノ子トハ思ヒヨラヌ也又―両方トモニ並モナフニ天子ノ御テフ愛ニ思
召同士ハ兩人トモ我子大切ニ思故ニ通（カヨイ）ハ似タ事也イミシウ―天子
ノ大事ニナサル事限ナヒ也源氏―源ノ君前カドカラ御テウ愛ナレドモセ間ノ
人承知スマイト思源ヲ東宮ニモエセヌ也坊ニモ―東宮坊ノ事也東宮（◇ノコ
ト）ヲ坊ト云也アカス―天子ノ心也タゞ人―源ヲタゞノ人平人ニシテ置ハハ
シイ也勿体ナヒト云様也

（○五十日ト書イソカトハ云ズイカト云也源氏ノ中（ウ）ニモアル也）

【十九才】

ネビハヒネル也ソレカラヲコリネビマサルニヨリ東宮ニナサレヌヲノコリ多ト思也カウソレニ此タビカクノ如クヤン事()ナヒ藤ノ腹ニ同ハ源ニ相カハラヌ若宮出生也疵源ハ元ヨリヲ腹アシイ故七間ノ人同心スマイト思召テ兄ゴ東宮ニスル也此タビノハヲ腹宮腹()也源ハ玉ニキズ也母ゴ悪イ故也宮藤壺ノ宮ハ源ニ似タニ付テモ天子ノ御テウ愛ヲ付テモ御密通心ニカハル也例イツモ藤ノ御()處デミ遊故今モ御遊ヲ也此例ノモ隔句也例ノ御アソビト見ル也イタキ人ニイダカシテ出也直ニ天子イタクニ非ズミコ天子ノ勅定也ミコ立アマタアレドモソコハ其方ト云事也此幼少ナ時分カラソバニヲキ見タ也サレハソレカラ起テ其方ヲモ幼少ナ時カラ見此ミコモ今カラ見ルソレ故両方同ジ様ニ見ワタサル、也両方並(ナラベ)テ見ル也其方ノ顔ニ能似タ也チイサキチイサイ時分ニハ皆此様ナ者カウツクシイ者ヤ也

△中將ノ君―〔空白〕七月朔日會

△中將ノ君―〔空白〕此宮ハ源ノヲ子故源ニ似タレドモ天子ノヲ心ニハ

【十九ウ】

チヒサイ時分ハ必カウシタ者ト思也前ニモソコヲナントコノ時分カラ見タ思ヒアハサルナラント被仰事アル中將―ハソフ被仰ニ心ノ鬼デ恐ロシイ也赤面也トリ上ル也天子ノソフ被仰ハ辱(ナヒ)也辱ハ勿体ナヒ也哀ハ悪イ事シタアト故心ニ疼ムキミ也ヲソレニモ勿体ナヒニモウレシイニモ心方面ヘウツロイ上ル様也此涙モ天子ノナニカニカハル涙也物若宮ノ事也神ガモル杯トテ獨(ヒトリ)エム事也ヲソロシイ程ウツクシイ也源ノ我身ナガラ此ウツクシイニ似バ此子ニ似タラバ我身モヲシイ也イタハシイハ心ヲ疼メル様ナレドモ此子ニ似バ我身モイタハリタイ也ソレハアマレナ思召ヨリ也御自満ナ事ジヤト也藤ノ母ゴハソコニ居リ天子ノソフ被仰故カタハライタイハツライ氣

ノ毒也汗モツライ也中將―左様ニ天子ノソコヲノミ此様ニ見タガソコト思ヒワタサルト被仰ハ反テヲキノドク也心カ乱レル様也我―二条ノ院葵ノモトヘヲ帰也胸ノ藤ノ事思召カタタノ胸イタイ也ヤル方ナイハ心ニ思ヒツメタ事デモナゲカレドモヤハリ胸ニツドヒアル也ソコシバシ程スグシテ葵ノ方ヘト思立也

△十六丁ウウレシイハ如何日若宮ヲホメルガウレシイ也又ケンノチヒサイ時ノ事被仰ソレモウレシイ也

【二〇才】

オマヘノ―センザイノナカニ也トコ夏ノ―此時分ハ四月也トコ夏アルマイナレドモ早ハハヤアル也九月迄モ十月迄モアル者也ソノセンザイニ在床夏ノ花折テカノ藤ト源ト中立スル命婦ノモトヘ王命婦ノモトヘ被遣(ツカハサ)書也オホカルベシハ草子ノ地也推量也

○「ヨソヘツ―〔空白〕若宮ミルニ付(ツケ)テ也藤ニヨソヘ若宮ミルニ也猶以(モツ)テヨソヘテミレドモナグサマズ此子ミレバ猶マサツテ藤ノ事思召也抄ニヨソヘツ、ミレト―是ハ同様ノ哥ナレドモ引哥ニ非ズ新古今ノ哥也是ハ似タ様ナ哥ト云ブンノ事也例ノ引哥ハ古イ哥也是ヲ取ヨム也此哥ハ證歌ト云者也花―是ハ引哥アツテ兼(抄ニ引)宿―撫子ノ花ニ咲テアレハソレニヨソヘテナグサマント思ニ咲テクレデ也古哥ノ様ニ花ニ咲テクレト思ニ今咲テヲ子ニ生テ見テモヨソヘデナグサマヌ也見テモカヒナヒ也ナグサマヌ也サリヌヘキ―其哥ヲ持テイテ王命婦ガ然ルベイサアリヌベイヨイカゲンノヒ

【二〇ウ】

マニ也藤ヘヲ目ニカケル少バカリ御返答ナサレト王命婦云也惟チリ―ハ少

(スコシ)ノ事也床夏故小(チイサイ)者也ソレニ哥カ、レネドモ少シバカリト云ハン為也チリバカリトアル也古今ニ塵ヲダニスヘシトゾ思フート古今トアルソレヲ以テ此縁デ云也床夏ノ縁デ云也ソフ命云ニ付テ藤ノヲ心ニモトカクノガレヌスクセデ源ノヲ子出生スルト源ノ事思召(◇時)也

○「袖ヌル、一モノ哀ニ思召時分トイヘバ源ノ事テ子シデヲ子出来ト思ハ源ニ付若宮ニツケ袖ヌレル也ソノ縁デ出来花ト思ハ此又ハ畢(ヲハン)又也ヌル也コノナデシコ故ヌル、露也撫子ハ源ノ事也カタ、二付袖ヌレル也カクハ(◇即)撫子ノ事也ハ御返哥ト云テ書ニ非ストバカリ手習ノ様ニ書也書サスニ非ス惟ステ書ニ書也王命婦ハイツモ御返答ナヒニ此タビ此哥取バ命ハ源ノ悦バント持行也例ノ一レイノツイニ御返答ナヒナラント源ハ思ヒクヅヲレテアル也クヅヲレハクツレ折レルノ訓也心ボンジヤクトシテアル御返答ヲシイ者クル故ニ

【二一オ】

胸一是アル事也ウレシイニ付涙ヲチル也其哥見ツク、ネテアレドモヤル方ナヒ也外ヘサンセズ胸ニ止テアル心チスル也例一イツモ其様ナ爵滞ニハ西一紫ノヲル処也小兒故ナグサミニゴザル也シドケナク一源ノ御ヨウ体也ジタラクナ様也前(◇十七丁ヲ)ニツク、トフシタルニモトアルギヨシナル故ビシ杯ソ、ケル様也ビンギハモトドリ也フクダミハソ、ケル也アザレハアニハ心ナヒ也ザレタ也貴人ナレバ上ニ直衣(ノヲシ)召ハツ也内々(ナイ、)故ウチキバカリキタ也ザレタ也ウチキハ直衣ノ下(シタ)ニキル女ハ小ウチキ男ハ大ウチキ也直衣ノ下(シタ)ニツイキルヒロ袖ノ者也ソレバカリ也笛一是ハ横笛也ノヅキ一紫ノ方ノヅケバ女君一ヒメハ即紫上ガ床夏也前ニ庭ニアルトコ夏藤壺ノモトヘヤルト云ヲ承(ウケ)アリツル花ノ也面白書様也ソイフシ一必ネルニ非スモノニヨリカ、リアルアイ一トハアイノカタチ也俗

ニ云アイソラシイ也コボレル程アマツテアル也オハシ一此オハシハ源也一アツテト句ヲ切テ源ノソコヘ来内ヘ入ル也打ヘモ入ラヌ門(カド)デ笛吹アル也早フコ

(○私考曰アサレタルトハ雜札タルナリ実札ナラサルヲイフカウチキハ掛ナリ直衣ノ下ニキル衣ナリ)

【二一ウ】

イデト思也コチヨリモ吹也顔ヲ其方ヘムケヌ也源ハエンノ方ニナドラル也コチャ一ソフ云ヘドモコヌ也スネル様也入ヌル一是モ古哥アル也是モ万(マン)ノ哥也シホガミチテクレバ磯ノ草見エヌ也ミル事スクナクコヲル事多也入ヌルイソノハ見ル事サイ、ナヒト云也袖杯ヲ以テカクス也幼少ナ子ナルガチト心易ナル故ザレテ也アナーコヅラノニクイト云タハムレ也コンナ事ドウシタ覚ゾ也ミル一是モ古イ哥也(◇抄ニ引)伊勢ノ海人ノ一ト云哥取テ源ノ被仰也ミルメニアクハヨイ事デ(◇ハ)ナヒ貴人ハソウデナヒ下賤也マサナキハ正ダイナヒ也本道ノ事ニ非ト也人一コト持テコイトテ紫ニヒカス也サウノ一是ハ源ノナサル事也ソウノコトハ今日ノ十三絃(一)ノコト也ナカノ細(ホソ)ヲハコトハソウノコトハ十三絃手前ノトイキンハ猶細也ソノ中ノ猶細也手前ノ巾(キン)也ソレヲ平調ト云調子ニスツヨウスレバ切レル也コタヘ難イ切レ易也処一処ガセバイ様也不自由ナキミ也モト調子高也一越調(イチコツテウ)也ソレヲ平調ニ直ス也カキ合セハ源ノ調子合シテヤル也

(○私考曰ホソヲトハ箏(サウノコト)ニハ大緒四筋中、緒四筋細、緒四筋合十二筋此外ニ巾(キン)ノ緒一筋ハ十三絃ノ中極テ細キ故ニ是ヲ細緒(ホソヲ)トイフヨシナリ)

【二二才】

紫ノ方ヘヤル也エー紫其コトクル故エンジハ怨ル事エンズルト云也前ニ源ノヲソク来ルヲスネアレドモコトヒケト云ハエ怨ミズ少(チイ)サイ手シテヨクヒク也十一歳バカリナレバ琴ニ手届(トバカ)ヌ也先ヘヲヨビカヽル也ユシハ五七ノイトハ指ヲ以ヲス也按スルハヲス也ヲスハユリユル事也カハイラシイト思召故ノシノ笛吹テソレニ合シテ教ル也器用ニ能覚ヨリテカタキハムツカシイ習ニクイ調子デモタバ一返トヨリニツイ覚也大方ハヲシナメテ何(ナン)デモ也ナニヲサシテミテモカハイラシウ也ヨイ心バヘデ思一藤ノカタミ也藤ノメイゴ也ソノカハリニモト思召事叶ト思也ホソロクセリ一ホソログセリモ楽ノ名也笛ニ合シテ教ルソレニ合シテアチニヒク也ホソロクセリト云調子ハ一越調デヒク者トアル平調ヨリ高イソノ中ニホソロクセリニカヘルト見ユ高クスル也テウハウラクト云楽ノ名也ナンデモ序破()急トテ次第二ハヤウナルソノ長保楽ノ中ノ破ノ樂ノ中比也ホソログセリト云名(ナ)ハコヅラニクイ名也和ナ名デナヒ也

【二二ウ】

源ノ面、白吹ニ合シテヒクガカキ合セ也マダー小兒故手ニ入ルヲナントモ調子タカハズ能ヒク也灯(トモシビ)ヲオホトナブラト云エヲ見ル也イデー今バン葵ノ上ノ方ヘ行ト源ノ被仰也人々ハ源ノヲ供ノ人也コハヅクリ雨フル早フヲ出ナサレイデト云也姫君一例ノハイツデモ源ヨソヘ行ト云バ屈シテアル也エモ一繪見テアレドモ源ヨソヘ行ト云故ウツブシタ也カハイラシイ故ホメタ也ウツブク故髪ハラ／＼トコボレタ也外一我脇ヘイテアル中ハ恋シイカ也クツシテウツブシテアル返事スレバ啼聲聞エル故唯ウナヅキテアル也我モ一我モ一日モ見ネバ心モトナヒ也サレト一ソフデハアレドモコナタ年ユカヌ中(ウ)ハ心易也先第一クネ一ヲトナリ方ヘノ心カハルマイトテソレムツカシ

ケレバクネ／＼ウラムルガムツカシサニ也クネルハ古今ノ序ニ女郎花ノ一時ヲクネルニモトアルクネルヲ宗祇ノ註ニ怨ムルキミ也先ト心クヒ違故怨也ソレヲクネルト云也人ノ一今ノ中(ウ)二人ノ怨ヲハヌ様ニト思モ世ニ源長、生シテ思一ヨニ長フ在テ

【二三才】

命長フ~~サカサ~~兼(イク久フ)夫婦ニナリソコ元ヘ見ラレウト思テ也サスガニ一小兒ノ事デ怨ニアレドモ其様ニ源ノ実テイニ被仰ハコ心ニモ恥シイ也少シ心アルト見ユヤガテ一其俣源ノヒザニヨリカヽリネル也是ヲ小兒ノ体(テイ)也源ノ心イタム也胸イタメル也家来衆モシマイキン処ノ女中モヲ出ナサレマイト云上ヲモノハ御膳也夜食也姫君一紫ユスリヲコシテコヨイハユカヌト云也ソコ悦デヲキルモロトモニクヒモノマイル也イト一ハロクニマイラズチトバカリ喰也スサミモ喰也イト一紫也サラハ一ソフアラバ也行ズバ也ネハ下知也アヤウ一若ダマシテユカンカト思也カヽルアイラシイヲ見テハ行(ユカ)イデ叶デモ也此様ニトメラル事セツ／＼アル也自(ヲ)一ウチノ家来ドモコヨヒハトメラレ行ヌト云脇デモ聞大殿ノ方ヘソレガ聞エル也タレ一葵ノ方ノ女中メザマシハ少シ立腹ノキミ也今迄ドウシテ人トモ聞エヌ其様ニ源ニ親フマツハシテタハムレルハカル／＼シイテイ也アテ一高貴ナ人デハアルマイ也内一キンリ杯デチヨツトヲ

【二三ウ】

逢ナサレタ人ヲヨイシウラシウモノメカシテ元カルイ人故人ミンカトカクシテ置ナラン源ニモツレルハ幼少ナト見エル也此ハハアトヘカヘル也アテニ一サフヲフ人々一トカヘルテンドウ也内ニモ一天子ノ聞紫キテアルト葵上ノ事左大臣殿ノ事也ゲニ尤ジヤト也ケニ一源ノ十二歳ヨリノムコ也オホナ／＼ハ

念比也桐壺ノ卷ニモ出シ切ニ源ヲ左大臣殿ノシタ也源ノソレ程ノ事知ヌ人ニ非スナゼニソ略ニスルゾ也ナセニナサケナウ葵ノ方ヘハ行ヌゾ也カシコマリ―ジツト恐レ入タバカリデ返答申上ヌ也ミカドノ心ニ心―ハサテハ心ニ叶ヌソウナ也此イト―ハ両方ヘカ、ル也源ノヲ心ニソマヌソウナト葵左大臣殿モキノ毒ニ思ヒ源モイトヲシク悪マイト思召也サルハ―是モ天子ノヲ詞也ソウアルソト云テ外ヘ通ト見エズコノ宮中デスキ、シウ打乱事見エズ禁裏デ勤ル女房ニモアレドレゾニハ也又諸方ニアル女トモヲシナメテモナク風流メク事聞エヌドコヘ行ゾ也ミヘ聞エスアルメルヲ也イカナル―ドウシタ者ノカゲクマヘカクレアルキテ也

〔二四オ〕
 (○廿一丁ヲヲホナノ訓如何日シラズキリツボノ終ニモ出タリ)

(○同ナベテナラズ如何日ヲシナメテナラズミナヨイニト也聞ユハ助字也)

カク人ニ―是ハカゲデ被仰也帝ノ―ヲ年ヒネテモカ様ノ好色エハナレヌ也ウネヘ―ウネメハ諸国ヨリ美人エラミ上ルカルイ女中也女藏人ハ上ヘノ女中也天子ノヲソバ近ヘ行事アイマニアル女ノ事アヅカリアル也采女女藏人ヒクイ女中ニモ心バセヨリ形ヨイニモヲ手カ、ル事アル也ナドヲ、モハ上(カミ)ハ云ニ及ヌ也ヨシアル―上(カミ)ニヲスキ故ヨシアル女中多イ時節也ハカナキ―コレ程多ヨイ女中アル時分ニハカナキハチヨツトシタ也ドレモイヤト云女ハナヒニ也目―ミナレテゼウジウゴラウジツケラル、故カアマレヲ目止事ナヒ也ミナル、メナル、一ツ也ゲニゾ―イカイジツメニ被仰也アヤシウヲスキナサレヌ也心ミニ―女トモ官女トモ談合シテアチヨリシカケテ見ル也ナサケ―ブ風流ニナヒ様ニ先ニハチガマシウ思ヌ様ニシテヤル也マコトニハ―一通ノ返答ハスレドモ実ニハ乱レヌ也タハムレニ源ヘカ、リミレドモシカ、

トセヌヲ実ニサビシウ思也源ニ心アル女也誠ニ苦フ思也年―是カラ源内侍トテ五十七八ノ老女也ヲカシイ事ナリ

(○私考曰女藏人ハウネメヨリ遙ニヨキ格ニテ女房ノ中下臈トイフ是ナリ采女ノ事ハ未摘ノ卷ニシルシヌ禁秘御抄ヲ引女藏人ノ事アリ可考)

〔二四ウ〕

典侍(ナイシノスケ)ハヨイ官也中納言大納言ノ女メノ出ル官也スケハ内侍処第二バン也カミ一人助四人其下ニゼウ四人アル也ヨイ官也人ガラモヨイ人ノ子也心―哥モヨム様也元ヨリヨイ人ノ子故上ロウノシナ也イミジウ―キツウ好色也ソ、ナタハ好色ノ方ニ也ソナタニハヲモカラヌ女アルヲ也、(アソ)コヘ女ト云字入レミル也カウ―時分スギル迄也サダハ比也好色時分ノ比デナヒニ也ナドカ様ニ妄ガハシク好色ヲシイゾ也ソコデドウシタ事ゾト源ノタハムレヲ云也源内侍ハ五十七八ナ者也源ハ十七不相応ナト思ヌ也ニタケナヒト思ヌ也アサマシ―源ノ心ニ数ノ、アサマシイト我ト思召ドモヤウス更(カハ)リ面白也好色メイタ事被仰二人モレ聞テモスマヌ道理ジヤト思召也ツレ―ツレナクナサル也女―源ノツレナクナサルヲ反テ女ハラメシウ思タ也

〔廿二丁ヲ 七月廿一日〕

△上ノ―〔空白〕ウヘハ天子也御ケヅリグシハ髪スク事也ナデ付事ヲ云也奥(オク)ノ事也オクデヲグシスキシマウ也ウヘハ―ミウチキノ人メシテハ表也イデサセ玉ヒヌルハ表ヘヲ出也四位五位ノ天上人ヨリ勤ム抄ニモアル事ニ堪タル人ヲ扱

〔二五オ〕

テ供ストアル是ハラクシソロヘル也冠ジタノ髪ユウ也平生ノ衣冠デ出四位ナ

レバ四位五位ナレバ五位ノ衣冠デ出デ又アチニ御借(ヲカシ)装束アルナゼ
ナレバ自身ノ著(チャク)シテヲ天子ノ御(ヲ)身ニサハルヲハバカリ紫ノ
直衣御免デ著シテソレキテヲグシソロヘル是ヲ御褂(ミウチキ)ノ人ト云也
ソレハイツモ拵テ藏人処ニアル者也ソレヲキテソロヘル也表へ出サセ玉フ也
又―天子ハ表へ出ル故ケヅリグシノ人ノバ処ニハ人ヲラン源内侍バカリ也ヤ
ウ・ダイハトモニカタチト云字也ナ・メクハ風流ニシテアル也イト―ハ立派ニ
シテアル好(コノマ)シゲニハ装束デモ脇ヨリアノ様ナキタイト好マシイ也
抄ニ色好シゲニトアルハ悪イ也脇ヨリヨイ好ミタイヲキル也サ・モハソフモ也
アノ様ニ也サハサスキミ也イヤラシ心ニツカヌ様ニ見ル也ナントドノ様ニ思
ゾトサスガニハ老女ジヤトハ思ドモ風流ニシテアル故サスガニ也是モステラ
レヌト思也モノスソヲ―裳(モ)ハ天子ノヲマへへ出時下(シタ)ニ衣(キ
ヌ)其上(ウヘ)ニウハギ著シソレカラ袴(ハカマ)ハカマノ上ニ唐衣(カ
ラキヌ)ヲカミニ著(キ)ル肩衣(カタギヌ)ノ様也其下(シタ)ニ後(ウ
シロ)ヨリ裳(モ)ヲヒキ巻(マク)也ウシロムクヲウシロヨリ引ト見ユ先
ニ見カヘリトアル也カハ

(○私考曰御ウチキノ人(◇古註)説々多シ日中行事トイヘル御記ニ御手水
ノ間ニテミウチキノ人メス其人召ニヨリテ馬形ノ障子ニカケタル蘇芳ノ褂
ヲウヘニ打著テ参ル御鬢カキオサメ御装束シ奉リテ其人ハマカリ出ト見エタ
リ是侍臣ノ中事ニ堪タル人ノ職也此書女房ニヨセテイヘルハ例ノ一躰ナルベ
シ)

【二五ウ】

ボリ―扇(アフギ)ト云者ハ男(ヲトコ)モ女モ冬ハ絹(キヌ)ヲ持夏ハ紙
也冬ハ風ヲ用ズ檜扇(ヒアフギ)也先ヲモガ女ノ持物也夏ハアフグ為紙也是

カハボリ也女ハ顔カクス為持也見カヘルニ顔カクシテ見カヘル也マ・ミハマト
メト五音通ズマ・ミハ目ノ事也イタウ―ヲ抄ニ遠ク見ルト云源氏ヲフリカヘリ
遠ク見ルト云ソレニ非ズミノベハ源ノ見ルニイカウ若(ワカウ)ミテヤル也
ヤウダイ―故若ハミ玉ヘド也マカハトハ目(メ)ノ皮(カハ)也マガハトハ
マブタ也同者也オチイリ―目ト眉骨ノ間引込(ヒキコム)也目ヨリ下ニマ
ユ骨高ナリシハヨル様ニ高ウナル也マカハマガハ心ハ同者也トカク目ト眉
トノ間也老人ハソコ黒フナル者也イミジク―此ハツレモ抄ニ髮ノハツレトア
ル髮ト云テハ聞ヌ也マカハイタクト云バマカハニソ、ケ付ヌ也是ハ扇カザ
シテフリカヘルニ随分(〴)若ビサセント思処扇ノハツレヨリ源ノ見ル顔取
ツクロウノガハヅレタ故年ヨリテ見エタ也マガハ杯ヲチ入故取ツクロウ処十
分ニ足ヌ様ニ見エタ也ハツレモソ、ケモノノ事也ニツカハシ―彼サシカザス
扇ニツカハシカラヌハ下(シモ)ニ

【二六オ】

見ユマツカイニ顔ニウツル様ニ金デ赤フ書也ヲノシノ持ツ扇ト取更テ見ル也
赤ハベニ也至極コキ紅也ウツル―ハアマレ赤ク紅(ベニ)ノ光ガ顔へウツル
程也木―コ高ミエルモリ書泥(デイ)デ紅(ベニ)ノ上(ウヘ)ヌル也カタ
ツカタハモリノカタ脇ニ也イト―古(フル)メク事(コト)也年ノ比スギタ
故手モ自(ヲ)老筆ノキミ也サ・ダハ比也ナカサダトテ中央ト云央ノ心アル也
(◇廿二丁ヲ)カウサダスグルマテ―ト前アル也典侍(ナイシノスケ)ナ
レバ大納言中納言ノ女メ也前ニ(◇廿二丁ヲ)タカクハアリナガラトアル也
ソレカラ又風流ニモアツタ也森ノ―(◇抄ニ引)オホアラキノ―ト云心也源
内侍ガ年ヨリ故ニ誰ジャ用ル者ナヒ也草高ナレバコワウナル故ニ駒喰ヌ故人
モカラヌ也ソノ心デ森―ト書也カキスサヒ―ス・サムハ手ズサミノキミ也コト
シモトハ書(カク)ベイ事ノコト也哥ニモサマノノ書ベイ事アルニソレハ

カ、ズ中々ナ事ヲ書テ也森―是モ抄ニ引テアル過ヒマモナク―ト云心ハヒマ
モナク繁リニケリナハ聞ユ大アラキノ―ト云時ハ森ガ夏ニナレバ冷(スゞシ)
キ処也立ヨル人多(ヲ、イ)也森ガ夏故人ガ多ク立ヨル也其方ニ心ガケ心カ
ハス人多カラント也ニゲ―似タケナヒ也

【二六ウ】

不相応也五十七八ノ典侍ト十七八ノ源ト也女ハ不相応(ヲフ)ナト思ヌ也
○「君シコバ―君ハ源氏手前ヘゴザラバタナレハテナレ也老人デサカリスギ
タ草葉ナレドモヲ出ナラバゴ弛走申シテヲ心ニ従ント也参テゴザルコマニモ
草カハント也スレバヲ心ニ従ント云事也

○「サ、ハケハ―タナレノ駒ニカリカハント云故君シコバゴサレト云故若我
レ行バイツトナフ平生ニ駒ヲナツクメルト云ハ前ノタナレノ駒カ(◇コガク
レ故)諸方ノ駒ナツケル処也我ヨツテ行ハ前ノ駒ノ主(ヌシ)ガトガメン(◇
ト)也

《廿三丁ウ 八月六日會》

△煩シサニ―〔空白〕サ、ワケテハ入テアラバセウジウフ断ニソノ方ニ夫(ヲ
ツト)アル故我ヲトガメント也煩サニハ人ガミル故ソレキノ毒サニ先帰也又
人ガトガメルデアラント云ヘモカ、ル也マダ―マダハ未ダ也カウシタモノ思
セヌ也今―キラハレテカ様ナ恥ヲ一生カイタ事ナヒ也今―追付(ヲツ、ケ)
又後程デモ云ハン思ヒ乍前ニワツラハシサニ―トアル人目アル故立程ニ也思
ヒ乍帰ルゾヤ也乍ノ下(シタ)ニモノアル也其方事

【二七オ】

思ヒ乍帰ルゾヤトテ也前ニ煩サニ―ヒカヘテトアル源氏ノ装束ヲ和ヘテヲ與
ニソコ引ハナチテト書セメテ―デアルヲヨビカ、ツテ也橋柱―抄ニ引哥

ノ通也年古イ故ヲキライナサルカ也ウヘハ―ウヘハ天子也ミ―ヲグシ也(◇
廿二丁ウ)前ニミウチ貴人シテノイデサセ玉ヒヌル程ニトアルヲグシソロヘ
シマウ也御サラシハカラカミ也ニツカハシ―不相応也源ハヤウヤク二十二足
ヌ源内侍ハ五十七八也ニ合ヌ也此オカシハ笑ヲカシイ也スキ心―天子ノ襟
(ヲ)詞近(キン)衆ノ衆ヘ被仰源ハジツメニ平生デモ好色見ン也好色ノ心
ナクウキ―セント常ニキノドクニ思ヒ玉フテアル也サハ―好色ノ心ナヒト
雖折々ノバ処スグシハセンソウナ也内侍ハ―天子ノソウ被仰ヲノゾキナサル
ヲナマ甘(マ)バユキハ恥カシイ也ニクカラヌ―是ハ抄ニ引テアルニクカラ
ヌ人ノ―ニクウナヒト我心ニ叶フ人ハヌレギヌハアダ名立ヲヌレキヌト云也
伊勢物語カラアル也来レキハ知レヌ事也古イ抄物ニ筑前ノ守ト云人アルソレ
ニ女(スメ)子アル妻死後妻入レル後妻ガ故其(ソノ)娘悪ミドウゾ殺シタ
クサマ

○廿三ウセメテハ如何日セメテノ事ニヲヨビカ、ル也セン方ナサニコレナ
クトモト云キミナリ)

【二七ウ】

ノ思案シテドウモナラン故アル時カノ辺(ヘシ)ノ海人(アマ)ノ男頼テ
通テクレ疵付テクレバキツトシタ札ヤラント也ソレヨリ通也海人ノ事ナレバ
ヌレタ衣(キヌ)娘ノヘヤニ置テイヌル娘ハ知ヌ事也悪イ名立テ遂(ヲヒ)
ウテントスル是カラヲコルト云何カラ云ヤラ知レヌ也後水尾院ノ抄ニモヌレ
キヌ何ノ事ヤラ知ヌ惟無実ノ名ト思ヘトアル知レヌ事也古イ哥ニ(◇抄ニ引)
悪カラヌ―ト云哥トラヘソレハ悪カラヌ人ヌレ衣(キヌ)ハカハカイデモ大事
ナヒト云ソウ云哥ヨム人モアル也クアカ(ム)ニ却(カヘ)ル故キマホシク
アル也アルナレバニヤ也イタウモ―ソノ氣デアル内侍故ソレハナヒ事デトハ

云ズムリデ無名(ナイナ)モ立テ、モライタイ也人々モ―其事ヲ聞タ近衆ノ公家衆女中タレデモ也案ニ相違ナ事也源ノヲ若(ワカイ)ニドンナ者ニ被仰テモイナト云女ナヒニ老女(ハバ)ニソシナ事アル珍サニ云モテアツカウ也ハツト沙汰アル故ニ頭―頭ノ中将ハ元ヨリイトコ也ナカヨシ也元ヨリドコカラドコ迄モ心ガケル好色人也マダ―思ヒヨラヌ事也尽セヌ―老人ノ年ヨツテモ尽也又好色ノ心モ

〔○ナマホシガルトヨムハ非也カルトスムベシキマホシクアル也源氏ニシタガルト云詞ナイ也〕

〔○廿四丁ヲ聞エサセズ如何曰キコエ助字也アラガハズ也サセズモ心ナヒ也ノビノト書タ者也〕

【二八才】

見タイ也ドンナ者ゾト也是頭中将ノ心也ソレカラカタライヨツタ也此君ハ頭中将也セ間ノ人ヨリハウルハシイ也カノ―源ハツレナイ也源ヲ恋ヒ慕フナグサミニセントスカノ頭中将ハ源ヲ恋ルナグサミニセントハ思タレドモ源程ニハナヒ頭中将見タイト思心ハ限アツテ源程ニハナヒ也ウタテノ―是ハ草子ノ地也此物語書人云也アマレノ好色也頭中将通タソレヲ見テ源ト思也フソウ応也イタウ―(◇中将)内侍ノ方ヘキ入到アルヲカクス源ハ知ヌ也ソコデカクシテアル事也ミツケ―ヤハリ源見付ト内侍怨ミムゴイト云様也ヨハヒ―源ノヲ心ニ源内侍ガ年ヨリフビシナト思也ナル程心ナグサマシテヤラン百年(モトトセ)ニ一年(ヒトトセ)タラヌノ心也ナグサメテヤラント思召ド叶ヌ―源ノヲ身其様ニ自由ニナラヌ也イト―ソフ思召ドモ自(ヲ)一日ノト過也タ立―アル時タ立シテソノタ立ノ名残(ナゴリ)ニスバシイヨイノ間也温明(ウンメイ)殿―温明殿ハ内侍処ト云也天照大神ノ御影ノ御(ヲ)鏡モ

リ禁中ニアル也内侍ト云官ガ内侍ノカミ内侍ノスケ昔(垂仁天皇ノ時)カラアル皆内侍(ナイシ)処也カ、リ内侍処ノマツリ

〔○廿四丁ウアリケルヲトヤトハ如何曰ヲニ心ナイ也トヤ也源内侍ガソウアリケリシヤゲナト云様也地カラ云ノ也〕

〔○百年ノ哥ハ伊物ナリヒラノ老女ニ逢フ哥也〕

〔○私考曰ウンメイ殿ハ内侍所也綾綺殿ノ東ニアリテ七間四面ノヨシ拾芥抄ニ見エタリ禁秘抄曰垂仁天皇御宇始為別殿御(温明殿)〕

【二八ウ】

司ル役人也内侍ガウケ持ソコ勤故天照大神コザナサル処ノ御殿モ内侍処ト云内侍処ト云ハヲカ、ミノ事也ソコヘカ、ル人故也源温明殿ノアタリヲタ、ズミアルケバ内侍故ソコニハヤアル也近故ソコヘ聞エル也御前―天子ノ御前(ゴゼン)也アソビハ楽ノ事クハゲンノ事遊ビノト云也男バカリ出テ皆ガクスル上手ニ内侍マジル藝ヨイ故男ノ相手ニモナル也内侍ハキツイ琵琶ノ上手也モノ、―セ間観ジテ源ノツレナヒ事也抄ニアル様ニ逸者(スルハ)其声楽怨者其吟悲也心ニウラメシケレバ声モソフアル也伯牙鐘子期ガヨイ哉大山ト云様也心ニアル事音(ネ)ニ見レル也瓜―サイバラノ哥イ者也山城ノ―ト云様ナ哥也イカニセント云ハコノ覚ヲドウセウゾト云事ヲ瓜ツクリト云又一説ハ山城ノコマノワタリノ―ト云哥也ナラヒテ後ガクヤシイ源デナヒ故ト也師説ハソレニ非ズ瓜ツクリハ思ヒ切ニシテ瓜作りニナツテシマイタイト思ト云事也アマレバレタ事ジヤト也心ニ付ヌ也ガクジウ―白氏文集ニ出夜聞(ト)哥者(宿)鄂州云

〔○私考曰ヒハ名物故也玄上牧馬井手滑*橋云云已上謂之十名物云々江

談及拾芥抄二出)

(○同瓜ツクリ催馬楽ノ山城ノ呂ノ三段ノコトバヲ取レリ)

【二九才】

題也鄂州八国ノ名也ソレヲ抄ニ引テアルソコデ白樂天哥フ女ノ声ヲ聞ト云アハレニ聞ソノ事思ヒ出サレテ源ノガクジウニ在女ノ事ヲ樂天聞様ナト也ガク州ニ在ル女ハ七十八トアル是ハ五十七八トアル年不(フ)相応也定家ノ自筆モガク州トアル年ノセンギニヨラヌ也一説ニ文君ナド云ケン昔ノ人モトアリ花鳥ナドハ是ヲ用ル也定家ノ心ハカクシウ也文君ハ年古ク合也司馬相如ガ妻也年ヨリ司馬相如カレ()也白頭ノ吟ヲ作ソレヲ見相如思ヒカヘシテ心ナグサムト云事也五十七八トアル故ソレヨイト云定家河海モガク州ニ從フ當流ソレヲ用也コノオカシ(ハ)ホメル也上手故面白也ヒキヤミテ一琵琶ヒキヤミモノ思ヒアルテイ也君一アヅマヤモ催馬楽ノ哥イ者也東屋ノ一ト云哥也夕立ノナゴリ故雨モフルアツマノ一アマツ、キノ戸アケテクレヨ也ヨリ一源内侍ガヘヤノ戸口ニヨル也ヲシ開テ一内カラ源内侍ガアケテヲハ入りナサレト云是モ東屋ノ二段目ニ(抄ニ引)ヲシ開テ一ト云詞アル故源ノ東屋ノ

【二九ウ】

哥故ニソレニ付タ也打ソ、ハ源ノヲ哥ニソヘタ也例ニ一平生ノ女ナレバ左様ナ事云ナトイヘドモヲシヒライテ一ト云ハ例ニタガウ也
○「立ヌル、一源ノ我立ヌレヌ此戸ヒラカセト東屋ウタウ時ニ源内侍ノ本哥ニ立ヌル、トアルソレ取テ立ヌル、人シモアラジ也シンジツニ私ニヌル、ニ非ラン也本哥ハ一ト立ヌレタ人アルト云本哥也今源ノ立テアルハ我ユヘニ非(シ)内ヘハ入ルノデアアルマイ也今ハ立ヌル、人ナヒニウタテモ一ハ無益

(ムヤク)ナト也東屋ハ四方ヘムネヲロス也マヤハアヅマヤノ本ヤ也ソレデマヤノアマリノ雨ソ、キト哥ニヨムアマリハ軒(ノキ)ノ事也打一源ノヲ心ニ我一人ニ非ス此内侍ハ心多イ者デアレコレ通スナラン也(ノキ)コヅラニクイ也笑止ナキミ也何事ヲ一ナニ事デ此様ニ妄ガハシク思ゾ也

○「人ヅマハ一是ラノ哥ハ皆催馬楽ノ東屋ヲ以ヨム也人ヅマモ東屋ノ詞也人ヅマハ人ノツマト云事也源ヲハ入ナサレト云故人ヅマハキラハシイ也アマリニナレマイ也アヅマヤノマヤハアマリト云ハン為(タメ)入レタ詞也マヤハ本ヤ也マヤノアマリハ軒(ノキ)也

(兼按抄ニ河海ヲ引東ヤノ哥アリ元ハ東ヤノマヤノアマリノアマソ、キ也書落シテ抄ニノセズヤト見ユ)

【三〇才】

人ヅマハワヅラハシイ故ソレ程ニナレマイ也打スギ一ソノマ、立ノキトウ思ドモアマリ一アマレソコガ源内侍存ズルヲ立ノイテハ取合ヌ様ナ故人ニ一先ノ心ニヲ、ズル様ニシテヤル也ハヤリカハロバヤニ云ヲ云也源内侍ニ心ウツル様ニ被仰也是モ一是モ氣カハツタト云様ニ思召也内ヘハ入タ也頭中將一(◇ソコデ)此君ハ源也ゼウジウ実(ジツ)目立シテ常ニ頭中將杯好色ヲ源ノ方カラソウナサルナト異見スル也ソレヲネタウ悪イ事ト頭中將モ思テアル也ツレナクテ一源ハ人ニハ異見ナサル面ニハナンノ事ナヒ顔シテアルツレナヒハ変ゼズト書ガヨイ也面ニハ何(ナン)ノ顔セス内々ニ忍ノアルシタル也イカデ一源ノジツ目ニ被仰故ドコゾデ見付タク思也イカデハドウゾシタ也ワタルハ月日(ツキヒ)ワタル也平生ソウ思アル也コレヲ一源ノ内侍ガヘヤヘハ入ヲ見付テウレシイ也平生見附タク思故也カウシタジセツニ少ヲドシテ

―ソコデウロタヘル程ニセン後々ニナントコリタカト云ハント思フニヲハ入
故氣ヲタユメネルヲ待也風―ハ先程夕立ノナゴリス、シクトアル夕立ノ名残
故冷イ也夜ガ

【三〇ウ】

フケ行也スコシドウヤラシヅマル也ネ入ソウナ也ヤヲラハ(◇和也)ソロ
リト頭中將ヘヤノ内ヘ入タ也君ハ―ソコデ打トケテネル様ニ心シマヌ也フト
―人ノソロリト入レドモノシモネヌ事也弥ニフケタ事故猶ヨク知レル也頭中
將トハシレヌ也猶―スリノカミハ源内侍トコンイナ人也猶ハ内侍年ヨツテモ
猶也スリノカミハ修理(シユリ)ノ大夫()也四分アル四分ノ時ハカミ也
カミハ常ハシユリノ大夫()此様ナ時ハカミト云テモ大事ナヒ也ソコデス
リノカミト云ハ源内侍ニソフ応ナ年バイ也ソウシタシユリノ大夫()ニカ
クノ如我フソウ応ナ也ニタケナヒ也アナ―源ノ内侍ニ被仰ハ人ガクル我ハ出
ン也クモノ―(◇抄ニ引)我セコガ―ト云哥ノ通也蜘蛛ノフルマイアルハサヅ
シユリノカミクルハ知レテアランニ約束ハアルランニ心ウク―我ヲダマシス
カシテ人ノクルヲ此様ニヨビ入レタト也直衣―元ヨリ直衣モテ袴(ハカマ)
モヌイテアル故急ナ事ナレバ指貫(サシヌキ)ノ様ナ者ハヌキ置直衣バカリ
也直衣ハ繪ニ書上ヘノ袍ノ様也夏秋ハ青冬春ハ白ニスル者也―カクレタ也
頭中將源ノニゲタトヲカシイ也念ズルハ伊勢ニアルカン忍スル事也源ノ

(○シユリノ大夫ハカミ故也サレドモ常ニハ云ヌ也カナ者故也修理ノカミト
ハ常ニ云ズシユリノ大ブトハ云也)

(○私考曰スリノカミハ修理大夫也委ハキリツホノ巻ニシルシヌ)

(○同カウフリハ今ノ冠ノオコリハ文武ノ大宝元年ニ初ル五位以上有文六位
已下ハ無文ナリ後世ニ至リテ厚額(アツヒタイ)薄額半(ン)額磯(イソ)、

額透(スキ)額ノ別アリ云々)

【三一オ】

屏風ノウシロニ入玉フソノタテ、アル屏風ノソバヘ行也ゴホ()―ハ
立腹ノ顔シテ屏風ハタ()トタ、ム怒タ顔シテ見セル声立テハ源知ル故身ブ
リシテミセル也オドロ()トハオドロカス也足ブミナドスル也内侍―年ヨル
也ヨシバミハヨシ()シウウルハシウ風流也ナヨ()ト和カニ也前()モ好
色ナ人故二重ニ来(キ)重ナル様ナ事デドウテンスル事ナヒ也イミジク―心
ウロタヘル也此君ヲ―ソノハタ()スル声源ヲイタメルカト思也源内侍モタ
バナラント聞也フルウ()―頭中將怒ルテイ故トラヘ源ソバヘヤラヌ也タレ
ト―源ノソレトシラレン様ニ出ントスルニシドケナキ―貴人ノ事ナレバシド
ケハ袴(ハカマ)ヌギ直衣取冠打ユガメニゲモナラヌ也ウシロデハウシロツ
キ也オコハアホウラシカラントヤスラウテアル也中將―頭中將ハ我トシラス
マイ也モノ云ハシレル故ニメツタニイカル様ニ身ブリスル刀ヲスリトヌク
也女―アガキミハ我君也我君()ト云テ中將ニ向ヒ手ヲスル也ホド()ハホ
トンド也アトハフト笑様ニナツテキタ也コノマシウト云ヤラ源内侍ノ身ブリ

【三一ウ】

取ナシ衣裳デモヨリシテアル也若ヤカニ見エル様ニシテアル也サテモ―ソフ
デモ有テ宜ウ見エル也五十(ゴジウ)―若コシラヘアレバヨクミエレドモ元
ヨリ五十七八ノ女也打トケテネテアルヲオキアガル也エナラヌ―エモ云レヌ
ウルハシイ頭中將源氏ハ二十ソコラノソバテフルウガ元ヨリカザルガ取乱シ
テ実見シサン()ノテイ也カウ―頭中將トミン様ニシテヨソロシウスレドモ
却テ著(イチジ)ルク源ノ頭中將ト知ル也ナゼナレバソレ程ハタ()トスレ
バ源ニ取ツクベキ也アトナヒ也バタヅク故ニ源反テケツクノ事知ル也我ト―

ソコデ源ノ心ニヲレト知り頭中將ノワザト知ルトヲカシウナル也慥ニ頭中將ト知ル故太刀ヌク手ヲトラヘテキツウニ俗ニ云ツメル也ネタキ一頭中將ミツケラレ残念(◇ナ)也ネタマシイ也吹出シタ也マコトニハ一是カラ源ノ実目也ケン在ノシン実カラスルカ也太刀杯ヌク事スナ也タハムレニソソナ事スル者カ也イテ一イデハ俗ニ云デヘ著(キン)カ也直衣バカリ取テ屏風ノ後(ウシ)ロニカクレルト云直衣也イデト云バ頭中將トラヘアル故中々ワタサヌ也サ・ラ・ハ・ソウアラバ也

【三二オ】

ソコデ頭中將ノ衣冠ノ帶ヲ解(トク)也ヌカジト一ヌグマイト也スマウハセリ合也男同士立アフラスマウト云也是モセリ合也両方ヒツハリ合也ホコロビハ一頭中將セウ束ホコロブル也ホロ／＼ト一ハラ／＼トイト切レタ也

《廿八ウ 八月十六日會》

△ツ、ムメル一(空白)源氏ト頭中將ト典侍ガ処デ帶トキ争フバ処也是頭中將ノ哥也頭中將ノ帶ヲ源ノ解(トク)ヲトカスマイト争ウチ頭中將ノ裝束トケタ也ソコデ頭中將ヨムハコナタノ源内侍ヘ通(カヨ)フ名モレ出ン也ヒキカハシハ互ニヒク也アチヘヒキコチヘ引故カハシ也ウヘニ一私ノセウ束ホコロブルガ上(ウヘ)ニ一是ヲ私カ上ヘニキテアラバ人トガメンナゼト人トガメバカ様／＼デ源ノカウシテト云バヲ名出ント也ホコロブル布ト云デ隱ス事ロケンシタ事也ホコロブルハ物ノ開事也キル者ノホコロブルト曲(ロ)ケンノ事ト云也

○「カクレナキ一源ノ返哥也其方ノ中ノ衣モノト云様ニ忍アルキハ必竟見レル者トシル／＼来(キタ)ルハソコ元ゴザルハト隔句也キタルモウスイモ

(○ホコロビハノハハ付字歟曰然リカミノサガリバナド云也)

《抄引哥ニ紅ノコゾメト云コノジ如何曰コクソメタル也紫スソゴノコ又コムラサキノコ皆同事也シルカランハ著(イ)カラン也》

【三二ウ】

皆モ夏衣ノ縁也人ノ来(ク)ル者ハ隱レナヒト知リツ、我クルハ知惠ノナヒト云者ト也頭中將モ裝束ホコロビ源モ両方也抄ニハウラヤミ一ハ源内侍ヘドレイテモウラヤミナヒト云ハ悪也両方破ラル、我バカリ破レテハハテウラヤマシイト思ドモ也源内侍ノ事ニカ、ルニ非也ミナハ兩人トモニ出也君一頭中將ニ見ラレ残念ナト思也内侍ハ一源内侍ノ心ニ淺マシイ也露見シタト思也源ノ指貫也指貫ハ俗ニ云ク、リバカマ也帶一アトカラ源内侍ノ方カラ源ノ方ヘ持セヤル也

○「恨テモ一全体波也ウラミハ波ノ縁也波ハ立テ浦ミル様ナ者故ウラムト云ガ浪ニ縁アル詞也源ヲウラメシク思テ立テヲ帰ナサレタ也源ノサツソクヲ帰ヲ怨テモソノカイナヒ也タチカサネハ頭(トウ)ト源ト二人ツレニ帰ル也ツレ立テ帰ルソノ浪ノナゴリニ貝(カイ)コレモ貝ハ海ニアル者故ニ両方ヘカケル也タチニ太刀アル也頭引ヌクソレモ入テアル也ソコモ一底迄モ露見シテ恥

【三三オ】

シイキノ毒ナト云事也面ナノ一ハ面目ナヒト云事モシラレソソナ哥処デナヒニ也源ノセリ合ヲキノ毒ナト思也笑止ニ思サスガニフビン也

○「アラダチシ一ハ頭中將來テバタ／＼シタ也此方ノ心ハサハガヌ也其方ハ心イカウサハギヤツタソウ也ヨセケン一頭中將クルソレヲナゼウラマシゾト也是モ抄ニヨセケン一ハ諸方ノ人ヨセル源内ヲ恨ミルト云悪也是頭中將也此方恨事ナヒナゼ頭中將恨ヌゾ也テニハガ内侍ノ事ニ非ズソレデハ合ヌ也如何

ナゼ頭中将ヲ恨ミンゾト云ネバ合ヌ也帯ハ一帯ハ源ノ帯ニ非ズ源ノ引トリ中
將ノ帯也凡帯ト云者ハ段々アル者ナレドモ衣冠ノ帯ハ細(ホソイ)也上カラ
見エヌ兒(コ)ドモノキルヌイアゲノ様ニ袍ノソノカゲニスル直衣ヲ切テス
ル夏冬ハ白也若時ハコイ也年ヨルハウスクナル若テモ官位高ハウスイ也源ハ
頭中将年カサナレドモ官卑故色フカイ也ハタ一源ノ裝束ミレバ直衣カ
タ袖ナヒ也常ノ羽織キルモノハ一幅袖也裝束ハ二幅(フタハビ)也ソト一
幅(ハビ)ヲハタ

○廿九ヲヲモナノサマ抄ヨキヤ曰ツラノカハノ厚ト云様也イセニヲモナク
テ云ヘルナルベシトアルモ同事也

○帯ハ若時ト官卑ハコイ也年ヨルカ官高トウスクナル也

○私考曰帯ハ中将ノ成ケル帯トハ直衣ノ帯也昔ハ直衣ヲスル人其直衣ノ切
ヲ帯ニ用ヒラル由ナリ凡夏ノ直衣ノ色最初ハ二藍(アユ)次ニ花田ヲ用ヒラ
ルニ藍モ花田モ官位ヲ進ミ玉フニ從ヒ色ウスクナル也然ハ同ニ藍ニテモ三位
ト四位ハ各別ナルベシ

【三三ウ】

袖ト云也下ノ一ノヲハタ袖ト云也ソレ取ラン無也アヤシイ也其意エラレヌ事
ドモジヤ此様ナ忍ビアルキセバタマノデサヘアルゼウジウヲ立テソノ事
ニ身ヲ入レテ好色ニ乱ル、人ハサマノナ事アラントイト、ソレカラコノ
ハデ好色スマイト思也中将一頭中将ノ方カラ状クル源ノ頭中将ニトラル片袖
ヲコス也トノ平処ハ源内侍カラモドリ禁裏へ参内スルソコニ各ヘヤアルソレ
ヲ云也ナンゾ風呂敷ノ様ナ者ニ包ヲコス也イカデードウシテ取今モトスゾト
残念也此一ヲヒ取テコズバナソボ腹立ン也アノトニイツモ云餘意アル也エザ
ラマシカハト思也同シ色ノ紙ニ包テ遣スハチクサ色也

○「中絶ハ一頭中将ト源内侍ト中絶也カゴトハカコツ也カコツハ怨事也我が
ヤラデト怨ント也惟帯ナレドモモ様アツテ云也催馬楽ニ古イ哥アルソノ哥デ
ヨム也元ヨリ花田色ノ帯也催馬楽ニ(◇抄ニ引)石河一中絶エルト云ガサ
イバラノ詞也若内侍ニサハラバ其方ノ中絶タトカコタレン源内侍ニ我ハ逢ハ
セヌト也カゴト

○廿九丁ヲヲリタチノ字ハ如何曰身ヲ入レテスル事也モノ念入レテスルヲ
ヲリ入レテスルト云同事也字ハシラズ

○抄ニ二藍ト云如何二度藍ヲソメルヤ曰下ベニデソメ上へ青花カケル也
今ノカタビラノ桔梗ト同色デ桔梗ハ下藍ニシテ上紅カケタ者也洗ハ紅落ル也
二藍ハ洗ハツイ藍ヲチル也紅ハ落ニクイ也二藍ゾメハ水カ、レハ早ヲチル
也

○私考曰ハタ袖トハ端袖ナリ又鱗袖ト六位袍ニテモ直衣ニテモ身ハ二幅ニ
シテ袖モ又カタノ二ハ、ツ、ナレハハタ袖ハ内袖ノ名ナリ位ハタ袖ハ内袖
ヨリセハシ

【三四オ】

ト云ガ帯ノ縁ニイツモ云事也催馬楽ニハ無也(◇抄ニ引)東地ノ道ノハテナ
ル一カコツケル事又チトバカリノ事モ云也東地ノ哥ノカゴトハチトバカリ也
帯ノ縁ニカゴト、云ハドウゾ也齊ノ桓公ノ時弟シキウト(ト)軍スルニ管仲
カ桓公射ニ鉤ニアツトアル也鉤ハカウ也鉤ヲカゴト、訓ズソノ縁デヲヒ故ヲ
ビノカゴト、云エンアル也コレハカコツ也帯ノ縁デ取出事也立カヘリハアチ
ヨリ帯モタシテヲコスソノ返答ニ中絶ト云ヤル又アチヨリ再返答也

○「君ニカク一如此ヲビトラル此絶ヌルモ前ノ帯ノ縁也カ様ニコナタニ帯
トラルト云底(ソコ)ニハ源内侍ヲソコ元ヘトラルアチヨリソウ被仰テモヤ

ハリ内侍ハコナタヘトラレタトカコツケ云ハシテ怨ミント也カウ云テモエ逃
 (ノガ)レマイゼヒ取タト云タハムレ也是ハ頭中將ノ役処也イトジツトシ
 テ兩方トモヲル也モノ遠一此比五七日モ逢ヌト云様ナ顔シテアル也頭一笑タ
 ケレドモジツトシテアル也公事一ソノ日ハカミノ公用多也ソウシハ上(カ
 ミ)へ奏聞シ又下(シモ)へ云付事也言上ト云付ト也事多故ウ

〔○管仲カ桓公ヲ射タ時ニ中鉤トアル也左傳ニモ史記ニモアル也鉤ハ未考〕

【三四ウ】

ル廿(ハ)シフハキツトシテアル也タハムレヌキミ也スクヨカハ健ノ字也互
 ニシリ目同土ニミル也カタミハ互也人マニ一人ノヲラヌマニ頭中將源ノソバ
 ヘヨリテ重テモノヲカクスナ隠シテモ知レル程ニ重テタシナマレヨ也イト一
 腹ノ立様ニ云カケル也源ノ返事ニナンノコリル事ナヒ也立一ハ源内侍ニ逢ン
 トテゴザルニ逢ズシテ帰ルコソ笑止也マコトニ一是カラ兩方タハムレ止テ実
 目也ソレハタハムレ也コンナ事ハ人聞テモヨフナヒコト也トコノ山一古今ニ
 入ル元ハ万葉ニ入ル也犬カミノ一モラスナト也互ニカウシタ事云ナ也古今ニ
 ハ名取川(一)トアル何分ニ互ニ他言スナヨ也若人問トモインニヤト云ハン
 ト也偕一ソフアツテヲ逢ナサルタビコトニヤトモスレバ也ナンゾ序ニイヒ
 一源ニ對シテコトヨリイ、向テクルソノクサハイ種(タネ)ニスル也イトゞ
 一源内侍ノ様ナ老女ニカ、リテト源ノヲ心ニ戒メント也女ハ一ソレニコリス
 源内侍ハ源ヲ怨テクル也ワビシ一キノ毒ト源ノ思也中將一頭中將ノ妹葵上デ
 源ノ御内所也云ヌ也ナゼ云ヌナレバ云テシマフテハモノナヒ何ゾノ序ニ也

〔○卅ヲホ、エムノホ、如何日ホ、ハホゞト云様也少シ笑事也〕

【三五オ】

云ズニヲキソウシタ時ノヲドシグサニセントジツト持テアルヲドシヲトシ兩
 説也ヲドシハヲドス也ヲトシハナンボシツ目ニシテモイカン源内侍ガト云也
 師説ハ落也ヤンコト一是カラ頭中將源ト威勢争也源ハ天子ノ御ホンソウノヲ
 子也止事一ハ同源ノヲ兄弟ニ親王ノヲコ多也ミコ立ハ源ノヲ兄弟也天子ノ御
 テウ愛ノ上(ウヘ)モナヒニ兄弟モヲソロシガリ源ノゴザレハソコニゲ補也
 サリハ処去ヲヨケル也此一ソレヲ此頭中將ハ中々源ニヲシ消サレヌ也ハカナ
 キ一チツトザツトシタ事ニモ心争也イドムハ争也此一ハ頭中將也頭中將ニモ
 ハラノ兄弟十一人アル此頭中將ト源ノ御内所ノ葵上ハ一ハラデ源ノ父桐壺
 ノ帝ノ妹ゴノ腹也ヨツテ頭中將葵上トハ源トイトコ也姫君ノ一源ノヲバ様ノ
 腹ジヤト云事也頭中將ノ威勢云也頭中將常ニ云又思ハ源ハ帝ノ子ト云バカリ
 也我一セ間ニ大臣アルソノ多イ中(ナカ)テモ一チ威勢アル父ジヤ也ミコハ
 ラ一ハキ、ノ大臣ノ子デ而モミコハ姫ミコ也桐壺ノ帝ノ妹也宇多ノ天皇ノヲ
 子也又外ニタ

【三五ウ】

グイナクイツキカシジカル中々源ニヲトルトハ思ヌ也人カラモ一頭中將生付
 人ガラモソフ応ニアルベイ限事ナンデモ人ナミノ事アルキ量骨ガラ藝ト云知
 恵ト云何事モア、アリタイト云程ニアル事ノ足ヌ事ナヒ也此一源ト頭中將ト
 互ニイドミ争事フシギナ事也ソレ程ニナヒ事争ハイデモ大事ナヒ事モ争怪イ
 心乍ソフアレドモムツカシサニ書ヌト也ナント云デソノ様ナ事ハ書ヌト也
 七月一文コレカラ改リ后ハ藤壺ノ女御ヲ后ニナル也源ハ今迄中將也宰相ニナ
 ル帝一ソレカラ桐壺モ位辞シテ東宮ニユヅラントス此若宮一此ト云字ハ前ノ
 七月ニ必后牛玉フメリシト云ソノ后ノウムヲ子故此若宮ト云也坊トハ東宮也

桐壺ノ隠居スルト源ノ兄ゴヲ位ニ即（ツク）アトヘ東宮コシラヘルソレヲ藤ノウム若宮ヲスエル也今ヲ位ニ即モ源ノ為ニモヨイ也藤壺ヲ氣ニ入故ニ東宮ニスル也坊ハ役処也坊ニ立ハ母方御撰家ト云後ロミナケレバナヲヌ也人ノネタミアリ又モノ入アリ天下ヲ政スル後ロミナケレバナ

（○卅一ヲ后キノキハ如何曰コザリ処ニスハルキミ也キン中ニゴザリ処アル也先ヘヤノ様ナ者也必竟ヘヤ有テソコヘ入ル事也是ハキスハル也キスハルハソコヘユク也）

（○私考曰后キ玉フトハ立后ナリ事江次第二委シ粗桐ツボノ巻ニ記ス）

（○同三位中将ニシテ宰相ニ成玉フト也云々）

【三六オ】

ラヌ也皆ソレ程重ナヒ也御一皆ミマ也藤壺ノ女御ハ前ノ光孝天皇ノヲ子分也皆ミヤ親王方也天下ノ政トリ行威勢ナヒ也源氏ト云バミヤ親王方也天下ノ政事ハ藤氏撰シミヤ親王方ハ撰スルズナヒ也公ケゴトハ政道也威勢ノヲモリ無故（ナヒユヘ）母ゴ様ヲ后ニ定也（メ）ヲケハ是デヲモ●ミニナル也ツヨリーハコンドノ若ミヤ東宮ニスルツヨミニスルヲ后ノ方カラ東宮ニナルハヅト人モ云也ソレカラ御威勢モ付也弘キ殿一誼誼相手今度ヲ位ニ即母ゴ也ネタミアル也藤壺ノヲ后ニナラレタネタミ也断リ也ソフハアレドモ也春宮ノ一天子ノ被仰也此タビ藤壺ヲ后ニスレドモ其方ウム子位ニ即ソノ方ゼヒトモ皇太后ノ位ニナル也モチツト心ノドヤカニ相待テ也ゲニーコキ殿ノ女御ニ尤ツケル也東宮ノ母ハ重イ也ソレ后ニセズヲソイフジヲスルハヨフナイ事也ソウハナサルマイ事ナレドモナサレタ也例一コレヨリ前々カラモ更衣ヤ藤壺ノ事ニ付テモトカク弘キ殿ノ女御ヨイ様ニ被成ベキニト

（○卅ウ源氏ノ公事トハソノ時ハミコ親王方ハ皆源氏ニスルヤ如何曰サガ天皇以来ハ皆源氏也此源氏（◇ト）ハ光源氏ニ限ラズソノ外親王方モコモリアル也）

【三六ウ】

云此タビモ云也マイリー下地女御也改中宮ニナル藤壺也中宮入（ジユ）内ト云者也源モヲ供也マ、母ゴ也同藤壺ガ此タビ后ニナル藤氏カラモ撰家カラモナレドモ此タビノ藤壺ハ別シテ此人ハ光孝天皇ノヲ后ノ腹ニ出来ル姫宮也元ゴレキ／＼也玉ノ如ク光リカ、ヤキタグイー天子ノ御テウアイセ間ノ人モコトニ各別ニ思ヒカシヅク也抄ニモ若宮ノ光ソフト云悪也ヤハリ是ハ藤壺也七間ノ人モ思ヒカシヅク也マシテ一マシテハ源御密通故ニマシテ也藤壺ノヲコシノナカニ参テアラント思也平生サヘヲ逢ナサレニクイニ中宮ニナレバ御威勢愈（イヨ／＼）ツヨク猶以也ソバローハ気が気テナイ也不意ト書也ナシヲハシマスト残ス也

○「尽モセヌー源ノヲ心ノ中デヨム也ナンボデモ藤ノ女御思ヒ奉ル思ヒハ尽ス也レンボノヤミ也イヨ／＼雲井高ナル故カキクラス様也是モ尽セヌーハ藤ノウム若宮ノ事子ヲ思フヤミノ心デヨムトハ悪也ヤハリレンボノヤミ也トノミ獨ゴトシテアル也イトー心細也ミコーカノ若宮也オヨスケハヲトナシウナル也源ノ

（○私考曰キサキノ事令條ニヨレバ太皇太后、皇太后宮皇后宮ノ別アリ是ヲ三宮トモ惣シテハ中宮トモイヘリ但桓武天皇ノ御宇ヨリ御母ノ皇太夫人ナルヲ三宮ノ外ニ中宮ト称シ玉ヒテ其後代々カクノ如シ然ルニ一條院ノ御宇ヨリ嫡妻二人ヲ立テ一人ヲ皇后トシ一人ヲ中宮トナシ玉ヘリ此書ニ同シキサキトアルハ一條院ノ御宇ニヨセタルナルベシ）

【三七〇】

ヲ子故源トワカラン程似タ也宮ハ藤ノ女御也此タビ后宮ニナル故モトミヤナルニイヨ／＼ミヤ也思／＼ケレドモセ間ノ人ハヤハリ源ノ弟ゴト思也ゲニ草子ノ地也源ハ天下無双ノ美男也ソレニ又似タ故コレハドウ作り源ノ様ナ人ハ又出来ゾ也造化ヤ仏家デ云ハ仏家ノ月日一敷也源ハ月若宮ハ日ト云様二月日ノ空ニ并様ニヨノ人モソソケウシタ也

（○作カヘノカヘハ如何日ヨイ人ハ一人アルハヅニ又品ヲカヘモ一ツ出来ハドウシタシ様ゾ也聞エニクイ事也）

（○給ハマシト云ハタマハスト云テニハ敷日タマウタゾ也上ニイカサマニトアル也）

（○ヨニイデノヨハ世敷日セ間也下ノヨノ人モ同事也ドウシテアノ様ナ人ヨニ出ゾトセ間ノ人ガ思タト云事也）

（○カヨイノヲボヘノト云ハ似タ事也処々ニ多アル事也）

紅葉賀終

再問條々

○十二丁ウ抄落花形鴛通天今アリヤ日アラン家ニ傳テアリ見ル事難シナンゾノ時ノハレニハシテ出ル也束帯ハ年頭カ御即位カ大嘗會カノシノ立身ノ時カ五節會ト云様ナナンゾキツトシタ時ノ事也一年ニ五下カ十度カ也稀事也

○十四丁ヲ抄心ノヲニ我心ニヲソロシク思事也我シタ事ヲ人ノ似タ事云時ニヲソレル様ナ事也先ニ心ナヒ事ナレドモコチヨリヲソレル也シレンニヲソロシイ事也

○十八丁ヲフクダミハフクレルキミ也ハツ／＼トナリシキミ也ビクキハ髪

【三七ウ】

事也クキハ根ノ事也ヒングキト云バ髪ノ事ニナル也

○同アザレルハシヤレタ事也

○十八丁ヲ抄男ノウチキハ下ニキル女ノウチキハ中晴ノ時上ニキル者也晴ノ時ハ唐衣（カラキヌ）上ニキル大（オ、）打キハ男ノ也小ウチキハ女ノ也

○廿九丁ヲ抄帯ハ直衣ノキレヲ用ハ同者用也

